

奈良大学

平成 21 年度 文部科学省 「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム) 選定

「気づきと振り返り」促進による自立心・行動力・向上心の育成

平成 22 年度 (中間) 報告書

目 次

はじめに	1
1. 奈良大学の取組	2
1-1 取組の概要	
1-2 取組の趣旨・目的	
1-3 取組の目標	
2. 実施状況、成果および今後の課題	4
2-1 正課外におけるキャリア形成支援	
・「自立心・行動力・向上心」養成ゼミの実施	
・自己理解促進プログラム(全新生対象)「自己の探求Ⅰ」の実施	
・社会人基礎研修講座(4年次生対象)「キャリア・アップ講座」の実施	
2-2 正課授業「表現技法Ⅱ」を通してのキャリア形成支援	
2-3 保護者との連携(各地区での相談会・ガイダンス出席状況の通知)	
2-4 就職活動支援	
2-5 卒業生評価調査の実施	
2-6 参考資料	
①3年次生個人面談実施状況	
②平成22年度卒業生進路状況	
③参考資料から見る今後の課題	
3. 次年度の計画について	45
4. 総括	46
5. おわりに	47

はじめに

奈良大学 学長 石原 潤

「気づき」と「振り返り」促進による自立心・行動力・向上心の育成をめざす本事業も、第2年目をむかえ、昨年度にひき続き、さまざまな試みを展開して参りました。

1年次後期の必修の正課授業として、「表現技法Ⅱ」を開講し、「気づき」と「振り返り」による自己理解とキャリアデザインの推進をはかりました。これは、600人の1年次生を17のクラスに分けて実施したもので、受講生からはおおむね肯定的な評価を受けました。

他方、正課外のキャリア形成支援のゼミ・講習会・講座としては、以下の3つを実施しました。まず、主に1・2年次生を対象に『「自立心・行動力・向上心」養成ゼミ』を、5月から1月まで、月に1種類、原則として各14回ずつ開講し、出来るだけ多くの学生が参加するよう配慮しました。参加率が後半低下して行ったのは残念でしたが、一定の成果が得られたと思われれます。次に、1年次生全員を対象とする大規模な講習会「自己の探求Ⅰ」を、4月29・30日に実施し、約6割の学生が参加しました。参加者には好評で、参加後、自己採点評価の上昇が見られました。さらに、卒業を控えた後期の4年次生を対象に、「キャリア・アップ講座」を実施しました。これは社会人としてのマナー・基礎力・法律知識・文書知識などを学ぶもので、参加者がやや少なかった点が残念ですが、一定の効果があつたと思われれます。

保護者との連携行事としては、昨年に引き続き、全国8地区で保護者との懇談会を開催し335名の参加がありました。キャリアセンターからの就職状況の説明や各地で就職している卒業生の経験談が提供され、84件の就職相談も行われ、好評でした。

さて、最も重要な就職活動支援としては、次のような事業を行いました。まず、就職活動を控えた3年次生を対象に、4月から1月にかけて、「就職活動支援ガイダンス」を実施しました。これは、業界・企業研究、エントリーシートの書き方、面接マナー等々22種のガイダンスからなるもので、さすがに多数の参加者がありました。次に、3年次生には10月から1月にかけて、「個人面談」が実施されました。今年の面談率は在籍者の86%と高率でした。ただし、4月以来3月までの「キャリアセンターの総相談件数」は、2,808件と、昨年に比べ減少しています。なお、就職の内定を得た4年次生から、男子6名、女子4名の「キャリアサポーター」を指名し、就職活動を始めた後輩達にアドバイスをしてもらっています。サポーター自身、この制度は有効であると認識しているようです。さらに、今年度の後半からは、文部科学省の施策により、「キャリアカウンセラー」が配置されることになり、本学でもカウンセリング件数が増加しています。

この他、本学の卒業生が就職後どのような評価を得ているか、企業の人事担当者による評価を実施しました。その結果は「協働力」の値がやや高く、「自立心」の値がやや低く現れ、従来、本学学生に対してなされて来た評価を、ある程度裏付けるものとなりました。

以上、本事業の2年目に当たる本年度において、我々は、多面的な活動を展開して来ました。個々の活動の成果は確実に上がっているように思えます。しかしながら、折からの深刻な不況の影響もあつて、それらが最終的な就職率の向上に繋がってはいないことは、今後の克服すべき課題でありましょう。

なお、大学設置基準の改定により、来年度から大学におけるキャリア教育が義務化されます。本学においては、このことをも睨みながら、来年度からキャリア支援科目の大幅な正課化を実施することと致しました。すなわち、現在、正課とされているキャリア支援科目は「表現技法Ⅱ」と「インターンシップ実習」の2科目だけですが、来年度からは7科目が正課とされ、それらが1年次から4年次まで連続して配当されることとなります。来年度が、本学におけるキャリア教育飛躍の年であつてほしいと、念じております。

1. 奈良大学の取組

1-1 取組の概要

申請書に記載した「取組の概要」は次のとおり。

『近年の意欲が低く自立出来ない学生の増加、また進路決定率の低下を踏まえ、4年間で「自立心」「行動力」「向上心」の育成に取組む。これは単に就職のための支援だけでなく、定期的に色々な場面において「気づき」や「振り返り」の機会を与え、積極的に自身の修学や学生生活、そして将来に対して行動を起させるための取組である。具体的には、従来正課外であったキャリアデザインに関する講座を、生徒から学生へのスムーズな移行を目指す初年次教育と連動して1年次全学必修科目として開設。また1～3年次の各年次において、毎月1回キャリア形成支援のガイダンスを就職担当職員が実施し、後に個別相談を行う。他にも、各種資格取得講座の充実や保護者との連携強化、また進路決定した4年次生への社会人基礎講座を積極的に行う。学生各々が自身の「気づき」や「振り返り」をもとに、学生生活を充実させ、修学に励み、希望する進路を獲得することを目指す。』

経緯について、少し補足する。

かねてより、進路支援を担当するキャリアセンターでは、正課授業以外（例えば、課外講座、資格取得支援講座、就職ガイダンスなど）で精力的に学生の進路支援を行っていた。その当時から、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」を基にして、特に本学の教学の理念に当てはめた「自立心」・「行動力」・「向上心」を進路支援のキーワードに掲げ、その育成に取組んでいた。しかし、正課外の取組では、学生全体にその重要性を十分に伝えきれず、限られた学生にしか支援が出来ていない状況であった。そしてこの度、その様な状況を解決するため、正課授業での取組、保護者との連携、及び正課外支援の充実を図ることで、更に「自立心」・「行動力」・「向上心」の育成を目指す取組を実施するに至り、本事業に選定されることとなった。

1-2 取組の趣旨・目的

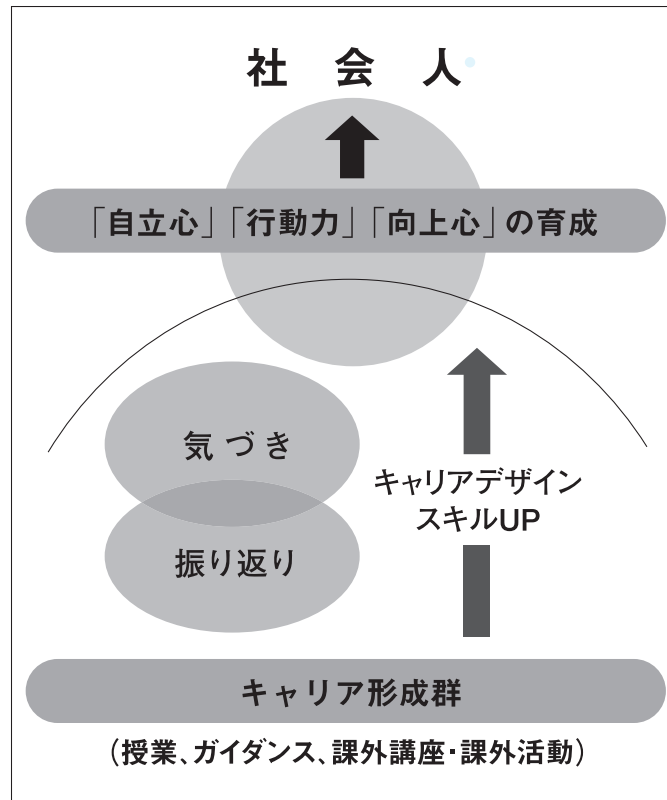
取組の概要でも記述したとおり、意欲が低く自立出来ない学生の増加は、将来に対しての目的意識を持たない学生の増加を意味することでもあり、修学ばかりでなく、課外活動を含めた学生生活全般に対しての低意欲（消極性）にも繋がっている。そうしたことが、留年や退学、また卒業時の進路未決定の原因となっていることは、本学としても取組むべき大きな課題である。その課題解決に向け、先ず第一に、学生それぞれが現在の自分や専攻する学問領域、そして自身の将来に対し、しっかりと目を向けてくれること。第二に、「真面目だが消極的」イメージの強い本学学生が、そのイメージを掻き消すくらいに学生生活を積極的に過ごし、そして将来を見据えた自分としっかり向かい合ってくれること。その双方の支援として「自立心・行動力・向上心」の育成を図るものである。

1-3 取組の目標

本取組では、学生が早期に自分の様々な活動における目標を、「気づき」や「振り返り」をもとに設定し、学生生活を充実させ、自信を持って社会に出て行けることを目指している。そのため、出来るだけ多くの「気づき」と「振り返り」の場面を設定したというのが本取組の大きな特徴である。形骸化したキャリア支援では、上述のとおり学生には十分にその重要性を伝える事が出来ない現状を踏まえ、色々な場面を通して、学

生自身が「気づき」、考え、行動を起し、そして「振り返る」、このサイクルを学生生活において日常化させることこそが重要だと考えている。学生が確実に本学で「自立心・行動力・向上心」を身に付け、高い進路決定率を堅持していくことを達成の目標としている。

[本学キャリア形成イメージ]



2. 実施状況、成果および今後の課題

前述の「奈良大学の取組」で紹介したとおり、「自立心・行動力・向上心」育成のための「気づきと振り返り」の機会を積極的に学生に持たせるため、初年度の実施結果を踏まえ、平成22年度は概ね以下のような事業を展開した。

1. 正課外におけるキャリア形成支援

- 「自立心・行動力・向上心」育成のための、正課外での講座『「自立心・行動力・向上心」養成ゼミ』の実施（昨年度の「キャリア形成支援ガイダンス」を改称し、内容も変更して実施）
- 自己理解促進プログラム（全新生対象）「自己の探求Ⅰ」の実施
- 社会人基礎研修講座（4年次生対象）「キャリア・アップ講座」の実施

2. 正課授業「表現技法Ⅱ」を通してのキャリア形成支援

3. 保護者との連携（各地区での相談会・ガイダンス出席状況の通知）

4. 就職活動支援

5. 卒業生評価調査の実施

それぞれについての実施状況、成果および今後の課題については以下のとおり。

2-1 正課外におけるキャリア形成支援

①実施状況・成果

＜正課外講座「自立心・行動力・向上心」養成ゼミの実施＞

「自立心・行動力・向上心」の必要性への「気づき」の場として『「自立心・行動力・向上心」ゼミ』（以下：養成ゼミ）に下記のような改善を加え、今年度も実施した。特に、昨年度まで、1・2年次生のみを対象としていたものを、より幅ひろい考えや経験、価値観の違いに気づけるよう1～4年次生の全学生を対象とし、名称も「キャリア形成支援ガイダンス」から、「何を目的に実施するものか」を直接的に伝えるため養成ゼミと改称した。5月～1月までの計8回（8月を除く全8回）、今年度も学生の時間割へ配慮し、毎月複数回（基本14回）開催し、それぞれ都合の良い時間で毎月1回を原則として、出席が出来るように工夫を凝らした。

平成22年度の実施に関する主な改善点

1. 「自立心・行動力・向上心」養成ゼミへの改称
2. 実施対象を全学年に拡大
3. 各回の目的・目指す能力（到達目標等）の明確化
4. 振り返りシートの作成（各回終了後に、記入を指示）
5. グループワークでの検討結果のランキング及びHP上での結果公表（11月から実施）

なお、毎月のテーマと参加状況は資料1のとおり。

【資料1】平成22年度「自立心・行動力・向上心」養成ゼミ 実施一覧

開催月	テーマ	実施回数(回)	参加人数(人)
5月	傾聴の姿勢を理解し、交流を広げる効果を感じよう	16	406 (393)
6月	社会で必要とされる能力について考えたとき、自分が伸ばしていきたい部分に気づき、その方策を立ててみよう	13	208
7月	計画的な夏休みを過ごすために、自分が成長するための目標設定をしよう。他者からの意見を取り入れ、他者へも有効的なアドバイスをしてみよう	14	143 (138)
9月	後期の授業開始を控え、夏休みを振り返り、気持ちの切り換えと新たな目標設定をしてみよう	13	162
10月	順序立てた説明の必要性を感じてみよう	13	120 (120)
11月	自立とは何かを考えてみよう	14	133
12月	奈良大生のイメージとは？ 奈良大生にとってのイメージアップについて考える	14	92
1月	新年度の目標設定の前に、2010年を振り返る	9	69 (69)

※実施クラス数は、原則1ヶ月に14回開講しているが、参加人数に応じ回数の増加、また人数に満たない場合は不開講とした回がある。

※参加人数の()数は、キャリアUPセルフチェックの回答数を示している。

上述の改善点のとおり、年度当初に、全学生に対し養成ゼミの日程および内容について資料を配付ならびに掲示し、昨年度よりも取組内容の明確化および出席の必要性を発信したが、出席状況（出席率）は、全学年を対象としたため、昨年度を下回ってしまった。特に回を追う毎に出席者が減少したことは、昨年同様で、一定の支持が得られなかったと言える。その対策の一環として、11月の実施からグループワークの結果を評価し、全グループの中から優秀なグループを決定し、本学HP上にて公表をして、競争意識と参加学生のモチベーションの向上を模索した。これについては、出席学生には大変好評で、10月までよりも、積極的に参加する学生が増加した様子であった。HP上に公表することで、同時に未出席学生への告知ができるとの思いがあったが、こちらは期待したほどには、出席率減少に歯止めをかけることは出来なかった。

一方、その他の成果として、今年度の特徴は、特定の学生ではあるが毎回（もしくはそれに近い出席回数）出席する学生が増加していることが挙げられる。特にサークルやクラブ等の課外活動を行っていない学生の参加が多く見受けられ、他の学年の学生（先輩・後輩）と関われる貴重な場として、この養成ゼミを捉えてくれたのではないかと考えられる。養成ゼミでのキャリアUPセルフチェックの実施結果は資料2のとおり。

【資料2】「自立心・行動力・向上心」養成ゼミ キャリアUPセルフチェック結果一覧

(単位：ポイント)

	回答数(人)	自立心(/20)	行動力(/20)	向上心(/20)	協働力(/20)	合計(/80)
第1回調査(5月)	393	14.0	13.2	13.3	14.4	54.9
第2回調査(7月)	138	14.4	13.5	13.6	14.9	56.5
第3回調査(9月)	159	14.5	13.4	13.5	14.4	55.8
第4回調査(1月)	69	14.4	13.5	13.5	14.2	55.7

※数値は、全回答者の平均値を示す。

【参考】キャリアUPセルフチェック全4回回答者(31名)の結果一覧

	回答数(人)	自立心(/20)	行動力(/20)	向上心(/20)	協働力(/20)	合計(/80)
第1回調査(5月)	31	14.2	12.9	13.6	13.6	54.3
第2回調査(7月)	31	14.4	13.1	13.5	13.9	54.8
第3回調査(9月)	31	14.8	13.5	14.1	14.6	57.0
第4回調査(1月)	31	14.9	13.8	14.0	14.6	57.3

※数値は、全回答者の平均値を示す。

＜自己理解促進プログラム(全新生対象)「自己の探求I」の実施＞

本取組の計画当初、このプログラムは、新生へのアプローチとして、特に修学目的や進路目標を持たない入学生の増加が顕著化しているため、そういった学生を対象に自己理解を促進するためのプログラムとして実施予定であった。しかし、自己理解の促進と併せて、新生にとって重要な「入学後の居場所づくり」、「新生同士による横のつながりの強化」を実践するには、全入学生を対象にしなければ、その目的は達成しないと考え、今年度入学生より新たに自己理解促進プログラム「自己の探求I」をオリエンテーションの一環として、4月29日・30日の両日に実施した。

この実施に関しては、内容や実施方法について、学内でも賛否両論がある中での実施となったが、新生の現状を踏まえ、早急な支援の必要性からゴールデンウィーク初めの2日間に実施した。実施期間については危惧していた以上に長期休暇を利用して帰省する学生が多く、新生全員参加を謳ったにも関わらず、参加状況は予想を下回った。しかし、実施成果については、参加学生の様子を見れば一目瞭然であり、僅か2日間のプログラムであったものの、以前では見られなかった生き活きとした学生の表情が窺えた。また、このプログラムをきっかけに、大学行事に積極的に関わりたいという学生グループが発足したことも、特記すべき事項である。

このプログラムの成果指標として、キャリアUPセルフチェックとは別に、キャリア Action-Vision Test(資料3)*を課して成果を測定した。これは、先ず2日間という短期間のプログラムであることと、また同じキャリアUPセルフチェックを多用することによる学生の「マンネリ」感を避けるためのものである。

参加状況およびキャリア Action-Vision Test の実施結果は資料4・5のとおり。

※キャリア Action-Vision Test は、下記論文より引用

- (1)「大学生のキャリアガイダンスの効果測定用テストの開発」下村英雄、八幡成美、梅崎修 [他] キャリアデザイン研究5、127-139、2009-09
- (2)「「相談」という行為を通じたキャリア意識の向上 - CAVT を使った効果測定の試み」田澤実、梅崎修、八幡成美 [他] キャリアデザイン研究6、69-81、2010-10

【資料3】「自己の探求 I」第1回調査用紙 キャリア Action-Vision Test

「自己の探求 I」第1回調査用紙
キャリア Action-Vision Test

あなたは、現在、以下のようなことが、どの程度、できていると感じますか。
あてはまる箇所に○をつけて回答してください。

	かなり でき ている	やや でき ている	ど ち ら も 言 え な い	あ ま り でき て い な い	でき て い な い
学外のような活動に熱心に取り組む	5	4	3	2	1
将来のビジョンを明確にする	5	4	3	2	1
尊敬する人に会える場に積極的に参加する	5	4	3	2	1
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	5	4	3	2	1
人生に役立つスキルを身につける	5	4	3	2	1
将来、具体的に何をやりたいかを見つける	5	4	3	2	1
様々な人に出会い人脈を広げる	5	4	3	2	1
将来に備えて準備する	5	4	3	2	1
何ごとにも積極的に取り組む	5	4	3	2	1
将来のことを調べて考える	5	4	3	2	1
様々な視点から物事を見られる人間になる	5	4	3	2	1
自分が本当にやりたいことを見つける	5	4	3	2	1

の合計得点を求めます。	点
Action(アクション)の得点	_____
の合計得点を求めます。	点
Vision(ヴィジョン)の得点	_____

【資料4】「自己の探求 I」学科別参加状況

学科	在籍者数	29日(初日)		30日(2日目)		(単位:人) 事後レポート提出数
		参加者数	参加率	参加者数	参加率	
国 文	87	48	55.2%	40	46.0%	31
史	158	87	55.1%	67	42.4%	49
地 理	92	54	58.7%	39	42.4%	29
文化財	110	69	62.7%	57	51.8%	49
心 理	92	47	51.1%	44	47.8%	32
社会調査	72	36	50.0%	20	27.8%	11
合計	611	341	55.8%	267	43.7%	201

【資料5】「自己の探求 I」 キャリア Action-Vision Test 実施結果

【学科別集計】

(単位：ポイント)

学 科	回答数	実施前		実施後		比 較	
		Action (/30)	Vision (/30)	Action (/30)	Vision (/30)	Action	Vision
国 文	35	16.9	17.9	21.5	20.5	+ 4.6	+ 2.6
史 学	56	17.8	18.4	22.5	21.1	+ 4.7	+ 2.7
地 理	32	18.9	17.8	21.7	20.5	+ 2.8	+ 2.7
文化財	51	18.1	19.8	21.0	22.3	+ 2.9	+ 2.5
心 理	34	16.6	16.2	21.6	19.4	+ 5.0	+ 3.2
社会調査	18	16.5	16.4	20.9	20.3	+ 4.4	+ 3.9
合 計	226	17.6	18.1	21.6	20.9	+ 4.0	+ 2.8

【入学試験別集計】

学 科	回答数	実施前		実施後		比 較	
		Action (/30)	Vision (/30)	Action (/30)	Vision (/30)	Action	Vision
A O	7	19.0	19.0	20.4	18.9	+ 1.4	- 0.1
指定校推薦	35	17.7	17.8	21.5	20.1	+ 3.8	+ 2.3
学園内推薦	9	16.3	16.5	20.8	19.4	+ 4.5	+ 2.9
公募制推薦A	13	17.0	19.5	21.5	23.1	+ 4.5	+ 3.6
公募制推薦B	15	18.1	17.7	21.0	20.2	+ 2.9	+ 2.5
公募制推薦C	39	17.4	18.4	21.2	20.9	+ 3.8	+ 2.5
一般前期A	25	18.0	18.2	22.9	21.4	+ 4.9	+ 3.2
一般前期B	34	17.6	18.5	22.6	21.5	+ 5.0	+ 3.0
センター前期	21	18.3	17.1	22.3	21.0	+ 4.0	+ 3.9
センター後期	6	17.5	18.5	22.7	22.3	+ 5.2	+ 3.8
一般後期	20	16.8	17.8	20.6	20.4	+ 3.8	+ 2.6
その他	2	12.5	14.5	16.0	19.0	+ 3.5	+ 4.5
合 計	226	17.6	18.1	21.6	20.9	+ 4.0	+ 2.8

※上記集計結果は、プログラム実施前・後の両方のを回答した226名を対象に集計したものの。

【参 考】

実施前全データ

学 科	回答数	Action (/30)	Vision (/30)
国 文	49	17.5	18.8
史 学	87	18.1	19.0
地 理	54	18.5	18.0
文化財	69	18.5	19.9
心 理	45	16.7	16.2
社会調査	36	17.7	16.5
合 計	340	17.9	18.4

実施後全データ

学 科	回答数	Action (/30)	Vision (/30)
国 文	39	21.4	20.9
史 学	67	22.2	20.9
地 理	39	21.6	20.3
文化財	57	21.0	21.9
心 理	44	21.3	19.5
社会調査	20	20.7	19.9
合 計	266	21.5	20.7

2・3年次クラス

学 科	回答数	実施前		実施後		比 較	
		Action (/30)	Vision (/30)	Action (/30)	Vision (/30)	Action	Vision
2・3年次クラス	26	17.5	17.7	21.8	20.8	+ 4.3	+ 3.1

<社会人基礎研修講座（4年次生対象）「キャリア・アップ講座」の実施>

最終学年である4年次生後期に、キャリアセンター主催による社会人基礎講座として「キャリア・アップ講座」を開講した。これは、進路が決定した学生を対象に、社会人になる前の最低限の知識やマナーについて、単発の講演として完結するのではなく、定期的な講義形式で学ぶことにより、社会人になることへの不安軽減を図るとともに、入社後すぐに退職するなどの、いわゆるミスマッチの抑制も期待して実施した。今年度も昨年度同様、かなり厳しい状況下での就職活動を強いられた学生が数多くいたことから、早期に進路決定する学生が少なく、受講申込者数は昨年度と比べ僅かに増加するに留まった。申込者の中には進路未決定の学生もあり、「これからの就職活動で活用したい」という、当初の目的とは少し違った成果もあった。しかし、そのことが出席状況に反映したのか、昨年度より出席率は改善し、講座の内容への高い関心と意欲が感じられた。各回の内容と出席状況、受講者の感想及びキャリア・アップ講座におけるキャリアUPセルフチェックの結果は資料6・7のとおり。

【資料6】 キャリア・アップ講座 講義内容・参加人数及び参加者の感想

(出席率は受講申込者数 33 名に対する率)

回	日 程	内 容	出席者数 (出席率)
1	9月17日(金)	オリエンテーション -開講にあたって、講義のねらいと目標-	28人 (84.8%)
<p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから社会に出ていく上で、知らないマナーや知識を身に付けて、あるべき姿を目指していきたいと感じました。 ・今の自分に必要なものを感じ取れました。思っている以上に不安が増えました。その不安を解消できるように頑張ります。 ・大変分かりやすく、意識を変えていこうと思いました。 ・自分の現状を認識し、あるべき姿へと近づくためには努力することが一番大事であり、それがどれほど困難であるかが分かりました。 ・入社までの6ヶ月間の期間に社会人のマナーや常識を身につける機会があり、参加してよかったと思う。 ・あるべき姿と現状の話は非常にためになりました。 ・前から「計画的に行動しなさい」、「普段から考えて生活しなさい」と言われていたのですが、この講座でその理由が分かりました。 ・自分自身を知ることの大切さを感じました。問題を認識して、あるべき目標に近づいていけるよう努力しようと思います。 ・マナーとは、相手を不快にさせないこと。自分のお金は、自分で稼いで、且つ利益をもたらす。という言葉が心に残りました。 ・久しぶりに厳しい意識と触れ合う事ができて、自分の甘さに気づけて良かった。次までに改善してきます。 ・厳しいことを沢山言われたが、現実として受け止め、これから励んでいきます。 ・アルバイトと社員の違いは、面接でよく聞かれたので、もっと前に知っていたら良かったと思いました。すごくタメになるお話が多かったので前期にやって欲しかったです。 			
2	9月24日(金)	社会人マナー編 -マナーとは、学生と社会人の違い、良識について-	23人 (69.7%)
3	10月1日(金)	社会人マナー編 -挨拶の仕方(ロールプレイング)、集団マナー、身だしなみ-	19人 (57.6%)
4	10月8日(金)	社会人マナー編 -来客対応、席次、電話対応、名刺交換-	20人 (60.6%)
<p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応の難しさに気付いて良かったです。 ・電話対応が一番苦手なので、基礎を学べて良かったです。 ・電話の対応はやっぱり難しいと思いました。 ・電話対応はアルバイト先でも何度かありましたが、社会人はさらに難しい気がしました。 ・電話対応は会社の代表になると分かったので、避けて通れない。 ・明日からアルバイトでも実践しようと思いました。 ・電話対応は苦手意識があったのですが、やり方を知るだけで変わると感じました。 			

5	10月15日（金）	ビジネス文書編 -表記技法（用字・用語・書式）の知識-	19人 (57.6%)
【主な感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・名刺交換の練習を実際に体験することができ、分かりやすかった。 ・上司と部下の時の交換の順番が思っていたよりもごちなくなってしまったので、勉強しておきたいです。 ・わかりにくいところもありましたが、できるだけ慣れていくようにしたいです。 			
6	10月22日（金）	ビジネス文書編 -表記技法（正確な文章・わかりやすい文章・礼儀正しい文章）-	17人 (51.5%)
【主な感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書をもっと書きたいと思った。 ・ビジネス文書はこれから必要なもので、学べてよかったと思いました。 			
7	10月29日（金）	ビジネス文書編 -実務技能（社内文書・社外文書・文書の取扱）-	20人 (60.6%)
【主な感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語はもう少し時間をとってやりたかったです。 ・Eメールで今、社会で実際に働いていらっしゃる方とやりとりしているので、参考になりました。 ・言い言葉と書き言葉の違いなどで、難しいと感じました。 ・敬語は知っていて損はなかったので、すごく役立ちました。 ・敬語、文書表現の仕組みが少しでも分かった気がしました。 ・敬語って、難しい。 			
8	11月5日（金）	法務知識編 -社会人生活に関連するビジネス法務知識（労働契約・就業規則等）-	14人 (42.4%)
【主な感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則があることは、知っていましたが、正直しっかりと見ていませんでした。これからは注意しようと思いました。 ・労働法に関する認識が甘かった。勉強しなきゃいけないと思った。 ・雇用保険とか労働時間を知っておくことは自分にとって、とても大切だと思った。 ・法律は知ったもの勝ち。覚えておくと便利なものだと分かった。 ・割増賃金の支払いなど、大変よく分かりました。 ・法律は知らないでは話にならない。知ってるものが強いということを改めて感じた。アルバイト先の規則を見てみようと思う。 			
9	11月19日（金）	法務知識編 -日常生活上の法令とコンプライアンス-	11人 (33.3%)
【主な感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスとは何か？など色々な話が聞けて良かったです。 ・プロの大変さがよく分かった。コンプライアンスをしっかりと学ぶ必要があると気付いて良かった。今までよく知らなかったのが今、学べて良かった。 ・コンプライアンスの徹底について認識が甘すぎた。 ・プロ意識を持つよう行動していこうと思いました。 			

<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト先でコンプライアンス研修というビデオを見る機会があるのですが、ちゃんと見たことはなかったです。しかし、意味があることを知ったので、考えてみたいと思いました。 ・コンプライアンスを学ぶのは今日が初めてでしたが、分かりやすかったです。社会人になってからも行動に移していきたいと思います。 ・個人情報の保護の注意の仕方とか、一括メールのソフトの存在とか、営業に与える印象とか、タメになりました。 			
10	11月26日(金)	社会人基礎力編 -社会人基礎力の内容・意義-	15人 (45.5%)
11	12月3日(金)	社会人基礎力編 -課題ブレインストーミング、アイデアのまとめと確認-	16人 (48.5%)
<p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことで色々な意見を出し合っていき、考えていくのが面白かったです。 ・案を現実的な視点で見るのが難しいと感じた。 ・ブレインストーミングを実現させるのは難しい。 ・企画の重要性がよく分かった。 ・悩んで話し合いをするのが楽しかった。 ・実現できるか考えるのは難しい。視野を広げて考えることを意識していきたい。 ・企業がやることを実際にできてよかった。思った以上に楽しかった。 ・アイデアを出しきって、何か案が出るだろうと思ったけど、中々ポイントを考えると難しいなと思いました。 			
12	12月10日(金)	社会人基礎力編 -集団ブレインストーミング、集団アイデアのまとめと確認-	14人 (42.4%)
<p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストの考え方が甘かったが、いい発表はできたと思う。 ・緊張してしまいました。ゆっくり話すように心掛けたいと思います。 ・実際に発表すると、思っていた以上に話せていなかった。 ・今日、実際にプレゼンしてみて、少し緊張していたので、早口になったり説明が短くなったので、事前にまとめる時間が必要だし、練習も沢山するべきだと思いました。 ・やはり経験を積まないとプレゼンはできないと思った。 ・うまくいきませんでした。とにかく、ゆっくり話すことをまず心がけます。 ・相手がどう理解しているか聞くことも必要ですね。 ・今回の発表は、ぶっつけ本番だったので大変でしたが、面白かったです。まとめていくのは大変ですが、色々なことを話し合い、協力して案をつくっていくのは楽しかったです。 			
13	12月17日(金)	新社会人演習 -社会人生活をイメージし、1日をロールプレイング-	11人 (33.3%)
<p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみるだけでなく、その前後も考えてやっていこうと思いました。 ・積極的にいろんなことに取り組んでいきたいと思います。 			

<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング・プレゼンのまとめ、求められえる力が分かりました。 ・社会人として必要なことであるとか、実践を通して学ぶことができました。これからも今回学んだことを活かして、ステップアップしていけるように頑張ります。 ・反省点がいろいろ見つかったので、その事について、今後対策を練っていきたいと思う。 ・反省することの重要性、企業が求める力がどんなものか分かって良かった。 ・知識を身につけて、アクションをおこして、実力のある人になりたいと思いました。 			
14	1月7日（金）	閉講にあたって（学長講話）	15人 (45.5%)
※最終回では、感想の代わりに下記アンケートを実施。			

Q1. この講座に期待するものは何でしたか？

- ビジネスマナーなどや仕事をする上での姿勢
- 社会に出た時に、すぐに役立つ情報
- 社会人としての基礎知識の習得（向上）
- 就活への勉強の第一歩、社会人への勉強の第一歩
- マナーの向上、ビジネスの様子を知る
- 自分が社会に出た時に必要なもの
- 入社前に社会人の基礎を上げること
- ディベートが出来たり、マナーが学べること
- 今の自分を推し量ること、自分の問題点を知りたかったからです
- 社会人のマナー
- 自分に自信をつける
- 自己成長
- 社会人としての基礎の知識やマナー
- 社会人としてのマナーや常識を身に付けて社会に出て行く準備をすること
- 社会人になった時のマナーやその他自分の知らない事を学ぶこと

Q2. 期待したものに対する満足度はどうでしたか？（ /100点）

- 100点 6人
- 98点 1人
- 95点 1人
- 90点 1人 平均88.2点
- 80点 1人
- 70点 2人
- 60点 1人

【理由】

- 先生方が熱心に分かりやすく教えてくださったから
- 今すぐにでも役立つようなものだったから
- 勉強して活かせることが多くあったので
- 難しいものもあったが、いろいろ学べて良かった

- 期待以上の内容だと感じたから
- 社会人がどのようなものか知ることができた
- 労働法の法律をもう少し勉強したかった
- 先生の熱意と自分の考え方に変化が生まれたからです
- 先生が良い先生だった、タイプの違う2人の先生だったから
- 自分自身が全てに出席することが出来なかったため
- 研修をうける前にプラスのイメージを持てた
- キャリアサポーターで抜けてしまった
- マナーやそれだけでなく、実践をとおして社会について学ぶ事ができたから
- 自分が思っていた以上のことを知ることができ、知識が身に付いた

Q3. この講座をとおして得たもの何ですか？

- ビジネス文書や挨拶の仕方はもちろんのこと、自分の考え方が以前とは異なった
- 多く欠席してしまいましたが、自分の行動結果を見直したりすることの大切さがよく分かりました
- 社会に出る(ための)自信、知らないは通用しない、知ってて当たり前というのが社会認識だと思えた
- ビジネスマナー
- ビジネスマナーの向上と社会人になってからの意識の持ち方
- 社会人としてのスキル
- 社会人になる準備を少しだけ出来た
- 考え方です、もっと考えて行動しようと思うようになりました
- 講義を聞くにしても、相手に笑顔で返すこと
- 緊張感
- 考える癖をつける、自分に自信を持つ、自分から行動する
- 積極性・マナー
- 社会人としての自信と意識
- 社会人としての基礎的なマナーや、社会での実際の話しや活動を通して社会でキャリアアップしていくために必要な知識を得たと思います
- 社会人としてのマナー、会社に入ってから伝言板の書き方の知識、電話対応の難しさなど

Q4. 特に「この内容は良かった」というものを教えてください。

- 実践を交えた講義は全て
- 「労働法」に関する話と、ブレインストーミングが良かったです
- ブレインストーミング
- コンビニの新商品の提案
- 毎回良かったです
- マナー講座
- グループワークです、仕事はコミュニケーションがないとできないものだと改めて痛感した
- マナーとグループでのディスカッションです
- 電話対応、実際にアルバイトをしても電話対応はできないことが多い
- 伊吹先生の発表の時間、霜山先生のマナー
- 霜山先生のSの話、自分は何のSを身につけたいか考えることができたし、目標が持てた
- 電話対応・プレゼンテーション

- 伊吹先生の演習
- マナーや、企画などの中で毎回、実際に動いて活動をするのが良かったです
- 実際に名刺の交換や、電話の対応を体験出来たので良かった

Q5. この講座に、「こんな内容があれば良かった」もしくは、「もっと内容を充実して欲しかった」というものがあれば書いてください。

- ビジネス文書の添削などもあれば、就職活動をしていく際に臨機応変に対応できるのではないかと思います
- 入社して直接相手の会社に行く時のマナー（会社の受付など）
- 様々な企業が必要なものを色々教えてもらいたかった
- 電話の実務を2時間やってほしい
- 伊吹先生のグループで行う作業は、社会人にとって必ず行うものなので、もう少し出来たらよかった
- ビジネスを実際に演出するところまでやりたい
- とても充実していたので、もっと時間が長かったら良いなあと思いました

Q6. 来年度から、この講座が正課授業（単位認定）になります。受講するであろう後輩達にメッセージをお願いします。

- 単位を取得できるから参加するのではなく、1コマ1コマの講義を大切にしたいと思えます
- やるかやらないかは自分自身、単位欲しさだけで受講するのではなく、何かひとつ得れるように取組んでほしい
- あまり堅く考えずに、失敗してもいいので就活・社会人の一歩を目指して頑張ってください
- しっかり講義を受けて、楽しくキャリアアップしてってください
- 社会に不安を感じている人は、是非受けてください、必ず自分のためになります
- 「将来こうしたい」という意欲のある人は是非参加してください、絶対に自分のためになります
- 本当に自分のためになります、精一杯取り組んでください
- 自分にプラスになると思ったら、必ず受講してください
- 前日はしっかり寝てください
- 自分に自信を持つことは、なかなかできないと思います、「私なんて」と思ってしまうこともあると思います、でも自分がどうなりたいか、どうなったら幸せになるのか、考えてみてください、きっと一歩踏み出すチャンスがこの講義にあると思います
- 積極性が身に付きます、就活をしている人も社会人になる人も必ず為になる講座であると思うので頑張ってください
- 学生の中に出来ることはやっておいた方が良いかなと思います、自分の武器=財産になると思います
- 本を読んでいるだけでは分からない、社会のことや、社会でキャリアアップしていく方法を実際に体験することで学んでいくことが出来ました、社会に出る前に自信をつけることができるので頑張って受講してください
- この講座は、社会人になるためのマナーをいろいろ学べて、実際に体験することも出来るので、受講しておいて損はないし、自分のためにもなり、自分自身も成長し、力もつくので、是非受講してください

【資料7】 キャリア・アップ講座 キャリアUPセルフチェック結果一覧

(単位：ポイント)

実施日	回答数 (人)	自立心 (/20)	行動力 (/20)	向上心 (/20)	協働力 (/20)	合計 (/80)
初回授業 (9 / 17)	28	15.2	15.5	14.7	16.4	61.8
最終授業 (1 / 7)	15	16.6	16.8	16.7	17.3	67.3
伸び値		1.4	1.3	2.0	0.9	5.5

※数値は全回答者の平均値を示す。

②今後の課題

＜正課外講座「自立心・行動力・向上心」養成ゼミ＞

養成ゼミでの出席学生の成果物（11月以降のグループ別での提出物）や、キャリアUPセルフチェックの実施結果を見る限り、出席した学生においては、それぞれに成果を認識しているとの結果であったと判断している。しかし、今年度も依然として高い出席率を確保するのは難しく、出席状況改善に向けての対策には、根本的な見直しが必要であり、各部門からの働きかけを模索したい。

＜自己理解促進プログラム（全新生対象）「自己の探求Ⅰ」＞

このプログラムに関しては、実施前より参加学生の自己理解の促進および、良い意味での変容は期待していた。しかし、参加率50%前後の状況は予想しておらず、強制力のないプログラムの限界を感じた。次年度も同様に実施する計画であり、先ず第一に参加率向上のための対策を講じる必要がある。

＜社会人基礎研修講座（4年次生対象）「キャリア・アップ講座」＞

この講座は、次年度より正課科目として開講されるため、課外講座としては今年度で終了する。今年度までの受講生の反応からも、ある一定の評価があったことを考慮すると、講座の内容よりもむしろ、如何に参加学生が「向上心」を維持してくれるかが課題となる。担当講師とも、検討のうえ対策を講じたい。

2-2 正課授業「表現技法Ⅱ」を通してのキャリア形成支援

①実施状況・成果

全学科1年次生の必修科目として開講している「表現技法Ⅱ」を今年度も後期に開講した。昨年同様、前期開講の初年次教育科目「表現技法Ⅰ」に続き、後期開講の「表現技法Ⅱ」においてキャリアデザインへの専門的アプローチを行うことで、自身の将来を見据えて、学生の積極的な学生生活を送ろうというモチベーションの維持や、更なる向上を目標とした。また、上述のキャリアセンターが実施した養成ゼミとも関連づけ、双方の内容の補完も目的とした。講義の内容、単位の取得状況、また学生の授業評価の結果は資料8・9・10のとおりである。それとは別に、今年度は1・2年次生に対して、キャリア意識アンケートを実施し、その項目の1つに「表現技法Ⅱ」についての設問も設けることとした。その結果（資料11）も併せて参照いただきたい。

【資料8】『表現技法Ⅱ』講義内容一覧

実施日		内 容
第1回	9月16日(木)	生きていくためのキャリアデザイン
	9月27日(月)	キャリアデザインの重要性を学ぶ
第2回	9月30日(木)	ライフ・キャリア・レインボー
	10月4日(月)	人生における8つの役割を考える
第3回	10月7日(木)	自分はどうな人間?
	10月18日(月)	自分の興味、能力、価値観を発見する
第4回	10月14日(木)	自分のシールドを考える
	10月25日(月)	
第5回	10月21日(木)	社会人基礎力を学ぶ①
	11月8日(月)	社会人基礎力とは
第6回	10月28日(木)	社会人基礎力を学ぶ②
	11月15日(月)	チームワークの重要性
第7回	11月4日(木)	3年後になぜエントリーシートが書けないか
	11月22日(月)	
第8回	11月18日(木)	新聞の効用を学ぶ
	11月29日(月)	
第9回	11月25日(木)	人的ネットワークの重要性を学ぶ
	12月6日(月)	
第10回	12月2日(木)	自己表現方法を学ぶ
	12月13日(月)	
第11回	12月9日(木)	グループ内での表現方法を学ぶ
	12月20日(月)	
第12回	12月16日(木)	10年後を予想する
	1月17日(月)	キャリアデザインを描く方法を学ぶ
第13回	1月6日(木)	キャンパスライフにおけるキャリアデザインを描く
	1月22日(土)	
第14回	1月13日(木)	キャリアデザインの発表(プレゼンテーション)
	1月24日(月)	
月曜日	1限目	史学科2クラス
	2限目	史学科2クラス・文化財学科1クラス
	3限目	文化財学科2クラス
	4限目	社会調査学科2クラス
木曜日	1限目	国文学科1クラス・心理学科3クラス
	2限目	国文学科1クラス・地理学科3クラス

【資料9】『表現技法Ⅱ』単位取得状況

学 科	登録者数(人)	単位取得者数(人)	単位未取得者数(人)	単位取得率(%)	昨年度比
国 文	85	74	11	87.1	- 0.1
史	156	148	8	94.9	- 1.4
地 理	89	80	9	89.9	3.9
文化財	107	95	12	88.8	- 7.7
文学部計	437	397	40	90.8	- 1.8

心 理	90	77	13	85.6	- 5.3
社会調査	70	64	6	91.4	1.9
社会学部計	160	141	19	88.1	- 2.1

合 計	597	538	59	90.1	- 1.8
-----	-----	-----	----	------	-------

【資料10】『表現技法Ⅱ』授業改善アンケート集計結果一覧

他の授業科目同様、「表現技法Ⅱ」についても授業改善アンケートを実施した。(回収率は68.4%)

アンケートの内容は以下のとおり。

設問1. この授業について、あなたは「教員の熱意」に満足できましたか、それとも満足できませんでしたか。
1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば不満足 5. 不満足

設問2. この授業について、あなたは「授業のわかりやすさ」に満足できましたか、それとも満足できませんでしたか。
1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば不満足 5. 不満足

設問3. この授業について、あなたは「教員による授業内容の準備・整理」に満足できましたか、それとも満足できませんでしたか。
1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば不満足 5. 不満足

設問4. あなたはこの授業の内容について、どの程度、理解できたと思いますか。

1. ほぼ理解できた 2. 7割くらいは理解できた 3. 半分くらいは理解できた 4. 3割くらいは理解できた 5. ほとんど理解できなかった

設問5. あなたはこの授業の目標について、どの程度、理解できたと思いますか。

1. 目標が理解できた 2. だいたい目標を理解できた 3. あまり目標が理解できなかった 4. 何が目標なのか全く分からなかった

設問6. この授業を受講するに当たって、シラバスは役に立ちましたか、それとも役に立ちませんでしたか。

1. 役に立った 2. どちらかといえば役に立った 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば役に立たなかった 5. 役に立たなかった

設問7. この授業への出席率はどのくらいでしたか。

1. 9割以上 2. 7割以上9割未満 3. 5割以上7割未満 4. 3割以上5割未満 5. 3割未満

設問8. この授業について、週あたりの予習・復習時間は、平均してどれくらいでしたか。

1. 2時間以上 2. 1時間から2時間程度 3. 30分から1時間程度 4. 30分未満だが少しはやった 5. 全くしていない

設問9. この授業について、総合的に見て満足できましたか、それとも満足できませんでしたか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば不満足 5. 不満足

それぞれの設問の回答について、1を5ポイント、2を4ポイント、3を3ポイント、4を2ポイント、5を1ポイントと換算し、学科毎の平均値を算出した。ただし、設問5のみ平均点を4点満点で計算。

(単位:ポイント)

学 科	有効回答数	問1 (/5.0)	問2 (/5.0)	問3 (/5.0)	問4 (/5.0)	問5 (/4.0)	問6 (/5.0)	問7 (/5.0)	問8 (/5.0)	問9 (/5.0)
国 文	56	4.49	4.38	4.42	4.26	3.24	3.67	4.14	1.51	4.12
史	113	4.24	4.17	4.27	4.09	3.17	3.42	4.47	1.44	3.99
地 理	66	4.52	4.43	4.44	4.30	3.28	3.34	4.35	1.54	4.28
文化財	67	4.58	4.45	4.54	4.35	3.25	3.42	4.44	1.42	4.31
心 理	67	4.08	4.03	4.09	3.94	3.01	3.48	4.22	1.44	3.87
社会調査	42	4.56	4.43	4.41	4.24	3.36	3.80	4.71	1.73	4.43
合 計	411	4.30	4.17	4.24	3.94	3.05	3.72	4.45	1.65	4.15

【資料11】 キャリア意識アンケートにおける「表現技法Ⅱ」の評価結果

1・2年次生を対象に、キャリア意識に関するアンケートを実施し、その項目に「表現技法Ⅱ」についての問いを設け、学生の評価を確認した。結果は以下のとおり。

なお、2年次生については、昨年度（平成21年度）に受講したのものについて、遡っての評価とした。

【1年次生】

学 科	回答数	回答率 (%)	在籍者数 (人)
国 文	56	65.1	86
史	122	78.2	156
地 理	66	73.3	90
文化財	69	64.5	107
文学部計	313	71.3	439
心 理	67	73.6	91
社会調査	46	65.7	70
社会学部計	113	70.2	161
合 計	426	71.0	600

Q. 「表現技法Ⅱ」は、あなたの人生設計（進路選択）に役立ちましたか？

学 科	役に立った		役に立たなかった		未回答	
	人数 (人)	回答率 (%)	人数 (人)	回答率 (%)	人数 (人)	回答率 (%)
国 文	49	87.5	7	12.5	0	0.0
史	96	78.7	16	13.1	10	8.2
地 理	56	84.8	9	13.6	1	1.5
文化財	57	82.6	11	15.9	1	1.4
文学部計	258	82.4	43	13.7	12	3.8
心 理	58	86.6	7	10.4	2	3.0
社会調査	42	91.3	3	6.5	1	2.2
社会学部計	100	88.5	10	8.8	3	2.7
合 計	358	84.0	53	12.4	15	3.5

【2年次生】

学 科	回答数	回答率 (%)	在籍者数 (人)
国 文	67	77.9	86
史	128	80.0	160
地 理	51	61.4	83
文化財	88	78.6	112
文学部計	334	75.7	441
心 理	52	61.2	85
現代社会	60	72.3	83
社会学部計	112	66.7	168
合 計	446	73.2	609

Q. 昨年度後期に受講された「表現技法Ⅱ」は、あなたの人生設計（進路選択）に役立ちましたか？

学 科	役に立った		役に立たなかった		未回答	
	人数 (人)	回答率 (%)	人数 (人)	回答率 (%)	人数 (人)	回答率 (%)
国 文	35	52.2	29	43.3	3	4.5
史	70	54.7	52	40.6	6	4.7
地 理	30	58.8	16	31.4	5	9.8
文化財	46	52.3	36	40.9	6	6.8
文学部計	181	54.2	133	39.8	20	6.0
心 理	20	38.5	32	61.5	0	0.0
現代社会	34	56.7	24	40.0	2	3.3
社会学部計	54	48.2	56	50.0	2	1.8
合 計	235	52.7	189	42.4	22	4.9

また、1年次生には、この「表現技法Ⅱ」において、「キャリアUPセルフチェック」を実施し、「自立心・行動力・向上心」の成長度合を測った。こちらは、講義での実施ということで、回答率は昨年度よりは低下したものの、他の養成ゼミ等よりは多く回答を得ることができ、実態に近い状況（数値）を確認することが出来たとみている。集計結果は資料12のとおり。

【資料12】「表現技法Ⅱ」における1年次生 キャリアUPセルフチェック結果一覧

9月と11月の両方のチェックを実施した学生の集計結果（359名）

（単位：ポイント）

学 科 (回答数)	自立心 (/20)			行動力 (/20)			向上心 (/20)			協働力 (/20)			合計 (/80)		
	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び
国 文 (49名)	13.7	14.6	0.9	12.2	13.5	1.3	12.4	13.5	1.1	14.0	15.0	1.0	52.3	56.6	4.3
史 (105名)	13.7	14.2	0.5	13.2	13.7	0.5	13.2	13.7	0.5	14.6	15.3	0.7	54.7	57.0	2.3
地 理 (55名)	13.1	13.7	0.6	13.2	14.0	0.8	12.4	13.4	1.0	14.8	15.2	0.4	53.6	56.3	2.7
文化財 (62名)	14.0	14.2	0.2	13.4	14.0	0.6	13.0	13.3	0.3	14.6	15.2	0.6	55.1	56.6	1.5
心 理 (49名)	13.2	13.0	-0.2	12.4	12.7	0.3	12.7	12.9	0.2	14.0	14.5	0.5	52.4	53.1	0.7
社会調査 (39名)	13.2	13.6	0.4	12.8	13.1	0.3	12.1	12.8	0.7	14.3	15.0	0.7	52.4	54.6	2.2
合 計 (359名)	13.6	14.0	0.4	12.9	13.6	0.7	12.8	13.4	0.6	14.4	15.1	0.7	53.7	56.0	2.3

※数値は全回答者の平均値を示す。

【参考】9月と1月それぞれに回収した総数の集計結果

（単位：ポイント）

学 科 (回収数)	自立心 (/20)			行動力 (/20)			向上心 (/20)			協働力 (/20)			合計 (/80)		
	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び	9月	1月	伸び
国 文 9月 (73名) 1月 (54名)	13.9	14.6	0.7	12.3	13.5	1.2	12.5	13.6	1.1	14.0	14.9	0.9	52.7	56.6	3.9
史 9月 (131名) 1月 (122名)	13.6	14.3	0.7	12.9	13.7	0.8	13.0	13.5	0.5	14.4	15.2	0.8	53.9	56.7	2.8
地 理 9月 (79名) 1月 (63名)	13.5	13.9	0.4	13.4	14.0	0.6	12.8	13.5	0.7	14.7	15.2	0.5	54.4	56.6	2.2
文化財 9月 (90名) 1月 (68名)	14.2	14.3	0.1	13.6	14.0	0.4	13.1	13.3	0.2	14.8	15.1	0.3	55.6	56.7	1.1
心 理 9月 (76名) 1月 (51名)	13.1	13.1	0.0	12.4	12.8	0.4	12.5	13.0	0.5	14.0	14.5	0.5	52.0	53.3	1.3
社会調査 9月 (58名) 1月 (44名)	13.2	13.5	0.3	12.7	13.1	0.4	11.9	12.7	0.8	14.2	15.0	0.8	52.0	54.3	2.3
合 計 9月 (507名) 1月 (402名)	13.6	14.0	0.4	12.9	13.6	0.7	12.7	13.3	0.6	14.4	15.1	0.7	53.6	56.0	2.4

※数値は全回答者の平均値を示す。

②今後の課題

まず、第一に昨年度も課題として挙げたものだが、この授業の目標に対する学生の理解について、昨年度よりも改善は見られたものの、他の項目と比べると今年も低い状況となった。授業を担当する講師からは、毎回授業の目的・目標を学生に伝えるようにしたが、昨年と同じく授業評価の結果や、キャリア意識アンケートの結果から、十分に認識をしている学生がいる傍ら、数ある授業のなかの一科目として捉えていると思われるコメントが複数記載されていた。全学科の必修科目ということで、複数のクラスを開講し、複数の講師が担当する以上、目的・目標の伝達の徹底は簡単ではない。また、学生の希望進路が異なることを踏まえると、学生のコメントでも理解できるものも多い。しかし、希望進路の如何を問わず、大学での4年間を如何に過ごすか、デザインするか、また卒業後をイメージし、どう学生生活を充実させるかという課題は、全学生に共通したものである。そのことを、更に学生に強く伝えるため、内容とともにその手段を模索しなければならない。

もう一つ、重要なこととして、「表現技法Ⅱ」受講後の支援についてである。今回2年次生にも、1年次生同様に昨年度受講した「表現技法Ⅱ」についての問いを設けたが、1年次生の結果と比較して明らかに「役に立たなかった」という学生の割合が多い状況が確認できた。昨年度の同時期にこのアンケートを実施していないため、その変化については把握できないものの、この2年次という期間に、昨年度行った学びや「気づき」「振り返り」を活かす機会が少なかったのではないかと想像する。1年次で「表現技法Ⅱ」を受講後、2年次以降の継続支援を充実し、もっと学生に対しキャリアデザインの重要性について具体的に示す必要があると思われる。その一つが、本取組の当初実施計画でもある1年次から4年次までの継続性のあるキャリア支援科目の正課化であり、平成23年度から資料13に記載の科目をようやく設置する運びとなった。当初計画では、インターンシップ科目の充実と4年次生での社会人基礎研修の内容であったものが、より継続性を重視し、新たな科目も設置することとなった。

【資料 13】平成23年度開講 キャリア支援科目一覧

配当年次 開講期間		平成 22 年度	平成 23 年度以降	
		科目名・単位数	科目名・単位数	主 な 内 容
1 年 次 生	後期	表現技法Ⅱ 【必修科目】 1 単位	表現技法Ⅱ 【必修科目】 1 単位	【テーマ】 学生生活及び将来におけるキャリア（生き方、 学び方）をデザインします 【主な内容】 1. キャリアデザインの重要性 2. 社会人基礎力とは 3. キャンパスライフにおけるキャリアデザイン
	前期	無し	キャリアデザインⅠ 【選択科目】 1 単位	【テーマ】 大学生としてのキャリアを構築します 【主な内容】 1. 魅力あるコミュニケーションを行うには 2. 自己表現方法を学び、実際にやってみる 3. 学生生活で成し遂げたいこととは
2 年 次 生	後期	無し	インターンシップⅠ 【選択科目】 1 単位 ※1・2	【テーマ】 就業について考えます 【主な内容】 1. 就業体験の意義 2. 業界・企業・財務 分析 3. 体験者との交流
	前期	無し	キャリアのための 人間関係学 【選択科目】 1 単位	【テーマ】 仕事の面から私たちの人生をとらえ、人間関 係がどのような意味を持つのかを学びます 【主な内容】 1. チームや組織の中で行動する 2. 多様な価値観に触れる 3. 意見の衝突に対処する
3 年 次 生	前期	無し	キャリアデザインⅡ 【選択科目】 1 単位	【テーマ】 大学生としてのキャリアの確立を目指します 【主な内容】 1. 多様なキャリアの選択肢 2. 社会人に求められる人材の研究 3. 進路決定の実際
	集中	インターンシップ実習 【選択科目】 2 単位	インターンシップⅡ 【選択科目】 1 単位 ※2	【テーマ】 就業体験を通じて自分を知ります 【主な内容】 1. 事前研修 2. 夏期休業期間中の就業体験（10日間） 3. 事後研修
4 年 次 生	後期	キャリア・アップ講座 【課外講座】	キャリアデザインⅢ 【選択科目】 1 単位	【テーマ】 本学の卒業生として相応しい各人の知識・自 信を身につけます 【主な内容】 1. 学生と社会人について、良識について 2. 日常生活上の法令とコンプライアンス 3. 表記技能・実務技能

※1 カリキュラムの移行措置により平成 23 年度のみ前期に開講。

※2 「インターンシップⅠ・Ⅱ」については、それまでの「インターンシップ実習」を再編成した科目。

2-3 保護者との連携（各地区での相談会・ガイダンス出席状況の通知）

①実施状況・成果

<保護者との懇談会>

学生のキャリア形成にとって、学生のことを一番良く知る家族の協力は不可欠であるとの考えから、保護者との連携を継続して強めている。まず、保護者に学生の現状を正確に知っていただくことを目的に、今年度も全国8地区で保護者との懇談会を実施した。懇談会では、就職状況や環境、また資格取得に関する情報などの全般的な説明のほか、個別での進路相談を行った。個別に各学生の現状を伝えることで、家庭でのキャリアに関する対話の時間を設け、家庭内で気づきと振り返りの機会拡充を図るためである。参加保護者からは、大学での様子が何え参考になるとの声の他、大学での取組の現状を知り「子どもに厳しく伝えたい」との感想を多くいただいた。また、昨今の厳しい就職環境の中、今後の就職状況予測や、1・2年次生からの対策についての質問が多かった。その際には、3年次の進路決定の間際になって、「就職活動を上手く展開するために学生生活を過ごす」のではなく、「充実した学生生活を送り、自己成長を感じながら進路選択ができるように、1・2年次から学生生活の中での『気づき』を大事にしてもらう」ことの重要性をお伝えした。懇談会の実施状況、参加者数、参加者の感想は資料14のとおり。

【資料14】保護者との懇談会実施・参加状況一覧

実施地区	実施日	会場	参加組数（組）	参加人数（人）	相談件数（件）
金沢	9月12日（日）	金沢スカイホテル	14	19	8
高松	9月18日（土）	全日空ホテルクレメント高松	30	39	12
東京	9月19日（日）	アルカディア市ヶ谷	20	25	9
福岡	9月23日（祝）	ホテル日航福岡	30	45	10
奈良	9月26日（日）	奈良大学	96	131	23
広島	10月9日（土）	広島ガーデンパレス	24	33	10
名古屋	10月11日（祝）	名古屋ガーデンパレス	16	23	8
静岡	10月17日（日）	静岡グランドホテル中島屋	14	20	4
合計			244	335	84

【参加保護者の主な感想】

金沢地区

- ・卒業生のお話が大変参考になりました。
- ・卒業生・在学生の就職についてお話が聞けて大変良かったです。
- ・就職に関する情報が得られて良かったです。

高松地区

- ・就職相談をわかりやすく説明してくださったので安心しました。ありがとうございました。
- ・このような会は初めてだったので不安でしたが、気さくに話してくださり、助かりました。また、色々なポイントをお聞きすることができて、良かったです。

- ・1年生から参加させて頂いたら良かったと、後悔しています。

東京地区

- ・大変貴重な時間をありがとうございました。
- ・なかなか学校行事に参加することができない距離にありますので、今回思い切って参加し、本当に良かったです。

福岡地区

- ・就職活動等、子どもとの話だけでは分からなかった事が直接伺う事が出来て参考になりました。大学での(子どもの)様子も気にかけて頂いており、とても安心致しました。ありがとうございました。
- ・就職活動にも、少し先が見えてきたような気がします。本人とも話し合っ、頑張らせようと思えます。

奈良地区

- ・就職活動をされた卒業生の「生の声」がよかったです。
- ・子どもがめざす進路についての詳しいお話を、保護者の方々や就職関係相談に行って聞けたことが良かった。
- ・本当に来させて頂いてよかったです。離れていますので、子どもの就活が見えてこなかったのですが、キャリアセンターの方々と連絡を取り合っ、頑張っているのが分かり安心しました。

広島地区

- ・就職等や保護者の方とお話ができ、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・いろいろと参考になる情報をいただきました。ありがとうございました。
- ・今回は、(子どもが)夏休みに行ったインターンシップについていろいろお聞きしたく参加しました。キャリアセンターのスタッフの方が詳しくお聞かせ下さったので、本当に良かったと思えました。娘にも伝えます。

名古屋地区

- ・就職のことなどを丁寧に教えていただき、ありがとうございました。
- ・大学の教育指導、取り組み姿勢、とても参考となり参加して良かったと思います。
- ・思ったより参加者が少なくて少し残念でした。
- ・なごやかな雰囲気、良かったです。
- ・子どもの名前を知ってくださり、とても話し易かったです。
- ・とても親切に対応して頂きました。

静岡地区

- ・卒業生とのお話、先生のお話、とてもためになりました。
- ・卒業生の「就活」について話を聞くことができ、良かったです。

<保護者への「養成ゼミ」参加状況通知>

前述の保護者との懇談会の他に、保護者との連携として、全1～3年次生の詳細なガイダンスに関する情報を提供することとした。具体的には、2-1で記載した養成ゼミの出席状況並びにキャリアUPセルフチェックの結果を保護者に通知するといったものである。通常の授業であれば成績をもとに授業への出席状況等は確認いただけるものの、キャリア形成に関する個人の状況を保護者に知っていただくことは難しい。そこで上記のような通知を行うことによって、帰宅後や帰省の際の対話機会の拡充、また学生の気づきと振り返り機会の増加が図れると考え、今年度も継続して実施した。今年度は、昨年度の反省から、出来るだけキャリア支援に関わる資料も同封するなどした。しかし、昨年度同様、養成ゼミの出席状況通知に関しては、それほど大きな反響はなかった。ただ、前述の保護者との懇談会に参加いただいた保護者の多くは、送付した資料を持参され、その出席状況に関する問い合わせを多くいただいた。

②今後の課題

まず、保護者との懇談会の参加者数は、全学生の10%にも満たなかったのは昨年と同様で、昨年課題とした「参加いただけなかった保護者への別の情報提供」が上手く行えなかった。養成ゼミの出席状況通知には、キャリア支援に関わる資料を同封したが、今後は家庭でも気づき・振り返り機会を更に設定いただけるよう、本学の取組を詳細に伝える必要があると言える。また、リアルタイムでの広報という意味では、今後Webを活用しての情報提供の充実を検討していきたい。

2-4 就職活動支援

①実施状況・成果

<ガイダンスの実施>

本格的に就職活動を開始する3年次生のタイミングに合わせ、就職活動支援のためのガイダンスを実施した。昨年度は、実施時期・内容を刷新して、平均的にガイダンスへの参加率やガイダンスに対する理解度も高かった。しかし、最終的に活動本番直前にも準備が不十分な学生が目立ったことを課題としてあげた。そのことを踏まえ、今年度は前期に実施するガイダンスにおいては、学生に時期ごとに課題を提示し、それをガイダンス実施後に提出させることとした。例えば、自己分析シートや業界研究レポートといったものがそれに当たる。しかし、今年度はガイダンス自体の出席率が低下したことに加え、ガイダンス参加者の多くは課題に着手はするものの、提出にまで至る者は少なく、最終的には昨年度と同じように、準備不十分な学生が数多く見られた。その結果、1月に入ってからのガイダンスの参加率が低下する状況ともなった。なお、今年度実施したガイダンス実施状況及び、参加者の感想は資料15・16のとおり。

【資料 15】 就職活動支援ガイダンス実施一覧

実施日	内 容	講 師	参加数(人)
4月9・13日	3年次生キャリアガイダンス（2年間の過ごし方）	キャリアセンター	424
4月20・23日	企業就職希望者対象ガイダンス	キャリアセンター	273
4月23日	進路「未定者」対象ガイダンス	キャリアセンター	19
5月14日	就職講演会「“就活”失敗しないための重要ポイント」	(株)学研メディコン	289
6月1日	就職ガイダンス（就職サイトのプレ登録+ Webテストについて）	株毎日コミュニケーションズ他	315
7月2日	業界・企業研究シリーズ① 業界天気図 気になる業界の展望	(財)南都経済センター	196
7月6日	業界・企業研究シリーズ② 日経新聞・四季報・会社情報の見方	キャリアセンター	138
7月9・13・16日	就職ガイダンス（夏期休業はどのように過ごす+4年次生プチ体験報告）	キャリアセンター + 進路決定の4年次生	178
9月17・21日	3年次生キャリアガイダンス（進路に関する個人面談の実施について）	キャリアセンター	402
10月1日	就職ガイダンス（実践的就職サイトの活用について）	(株)リクルート	204
10月5日	就職ガイダンス（自己分析の完成）	(株)内定塾	197
10月8日	先輩による就職活動体験報告会	進路決定の4年次生（3人）	116
10月13日	就職ガイダンス（リクルートスーツの選び方・着こなし方）	(株)ラガゾット	172
10月15日	就職ガイダンス（業種・職種研究の完成）	(株)内定塾	164
10月19日	就職ガイダンス（エントリーシート・履歴書の書き方－初級編－）	(株)内定塾	302
11月9日	就職ガイダンス（U・Iターンの成功の秘訣）	(株)アイバック	106
11月17日	就職ガイダンス（エントリーシート・履歴書の書き方－実践編－）	キャリアセンター	225
12月3・7・8日	就職ガイダンス（就職活動、どこまで進んでいますか？活動の「振り返り」と「これから」）	キャリアセンター	200
12月10日	マナー講習会（面接で使えるマナー PART 1－言葉遣いと入室－）	トータルマナー(株)	189
12月14日	マナー講習会（面接で使えるマナー PART 2－面接官とのやりとり－）	トータルマナー(株)	217
1月9・23日	模擬面接会	(株)内定塾	111
1月11日	メイク講習会（女子学生限定）	株コーディネーションフォーラム	81

【資料16】 就職活動支援ガイダンス出席状況・感想一覧

【3年次生キャリアガイダンス（2年間の過ごし方）】

実施日：平成22年4月9日（金）・13日（火）

会 場：教室棟

講 師：キャリアセンター

出席状況 (単位：人)

学部	出席者数	在籍者数
文	424	423
社会		155
合計	424	578

※学科単位での出席状況が把握できず、参加実数のみ。

【企業就職希望者対象ガイダンス】

実施日：平成22年4月20日（火）・23日（金）

会 場：C-102教室

講 師：キャリアセンター

理解度学部別集計結果 (単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	67	64	30	1	0	31	193	423	45.6%
社会	19	20	15	0	0	26	80	155	51.6%
合計	86	84	45	1	0	57	273	578	47.2%

- 働く前と働いている人とはかなり意見が違うなあと思った。
- 社会人の人達がいざ職場についてどんなことを順位付けているかがよく分かった。
- これから意欲的に積極的にガイダンスに出席したい、しなければいけないと感じた。
- 就職活動がすでに始まっている事。そしてその第一歩が自己分析であるということがよくわかった。
- 自分のランキングと社会人の順位が全然違って、色々と勉強になった。
- 今、自分が何をすべきなのかということを考えるキッカケになった。
- 今週から自己分析を始めようと思います。
- ビデオを見て面接の現実がわかった。自己分析の重要性も分かったし、さっそく取り組んでいきたい。
- 高校の時から将来自分が何をしたいのかずっと考えていましたが、未だ考えがまとまりません。しかし、方向はようやくしぼれてきたので今日のガイダンスを参考にして決めたいと思います。
- 今年は準備で来年からやればいいと思っていましたが、今日のガイダンスを聞いてもうやらないといけなと思いました。
- 自分自身の弱みと強みを見直してみようと思った。
- 今回のガイダンスに出て、私がどれだけ就職活動を甘く見ていたか改めて実感しました。このガイダンスで学んだことを踏まえて、自分がやるべきことを今からやろうと思います。

【進路「未定者」対象ガイダンス】

実施日：平成22年4月23日（金）

会 場：C-205教室

講 師：キャリアセンター

理解度学部別集計結果 (単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	9	3	1	0	0	2	15	423	3.5%
社会	0	1	0	0	0	3	4	155	2.6%
合計	9	4	1	0	0	5	19	578	3.3%

- 企業のガイダンスでは分からなかった事もありました。
- 今回のガイダンスでできた事を考えながら自分の進路を決めていきたいと思う。
- 少し方向性が見えてきた気がする。
- 自分のやりたいことを探していこうと思う。この1年何かやってみようと思う。
- 業種を選ぶ参考になった。
- これから就職するためには、色々と準備がかかるのだと分かった。
- 今まで就職に関して、後ろ向きな考え方をしていたが、少しは前向きな考えを持つことができるようになった。企業ガイダンスなどにも参加してみたい。
- これから就職するのを目指していく上で必要なものが見えてきました。

【就職講演会：“就活”失敗しないための重要ポイント】

実施日：平成22年5月14日（金）

会 場：講堂

講 師：(株)学研メディコン

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分らなかった	全然分らなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	112	62	23	0	0	22	219	421	52.0%
社会	28	17	6	1	0	18	70	154	45.5%
合計	140	79	29	1	0	40	289	575	50.3%

- リアルな現状、自分たちがどうあるべきかということが本当によく分かりました。また、少し希望が見えてきたので今後は前向きに頑張っていこうと考えを改めました。
- 改めて時間の不足を感じた。それに今の時期に気がつけた事を大切に、講演内容を生かしていきたいと思った。
- 現在の社会の状況などを構造から説明してもらえて分かりやすかった。
- なぜ働かなければいけないのか、日本がどう変わってきて今後どうなっていくかなど、わかっているけども解っていなかったことがかみくだいて説明されとても分かりやすかった。
- 教員を目指していましたが、この講演を聞いてよかったです。自分の将来について真剣に考えます。
- 就職活動を始めるに当たって大切なことは、自分から考え、動くという姿勢ではないかと思いました。これからは自分で思ったことは行動に移したいと思います。
- 社会の成り立ちや、今すべきことがよくわかった。先行き不透明の時代であることからこそ、自分自身でいろいろな対策をして臨んでいかなければならないと感じた。
- 出席するか迷っていたけれど、ちゃんと出席しておいて良かったと思いました。もっとしっかり新聞を読むようにしようと思います。絶対就職するぞ!!といった強い気持ちを持ちたいと思います。
- 自分でできるコトは今からきちんとするコトが必要だと思った。今できないことが就職してできるはずがない。求められるコトをきちんとしていれば、企業の求める人材レベルにも達するコトができるとわかった。だるがりな自分を卒業しないといけない。

【就職ガイダンス（就職サイトのプレ登録+Webテストについて）】

実施日：平成22年6月1日（火）

会場：講堂

講師：(株)毎日コミュニケーションズ

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分らなかった	全然分らなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	99	49	40	2	0	40	230	419	54.9%
社会	21	30	12	1	0	21	85	153	55.6%
合計	120	79	52	3	0	61	315	572	55.1%

- 就職サイトだけではなく、キャリアセンターなどもどんどん使って就活に必要な情報を収集していこうと思った。
- インターンシップに積極的に参加していこうと思う。
- サイトはすごく便利だとわかったが、最終的には自分の行動だと知った。
- まずは6月12日インターンシップフェア行ってきます。行動して自信つけます。
- 教職と就活とで正直迷っています。両立できるかわかりませんが努力します。
- 視野を広げることが大切という言葉が印象に残った。一つのメーカーにしぼって検索をしていた所があったのもっと広く考えていきたい。
- まずは自己分析。キャリアセンターに出した自己分析カード、もう一回ちゃんとやりたい。
- 公務員志望だが参加してよかった。企業志望への取り組みと絞り定めるやり方など多少の就活へのモヤモヤが消えた。良かったと思うのは、企業が就職ナビをすすめる上で就職ナビに頼りすぎるのも危険だということ。だから、結果としては自分で動くことが大切で、それこそ企業が求める人材だということ。
- 「視野を広く持つことが大事」ということを改めて認識させられました。いつも「私は〇〇だから××には向いていない」と思いがちだったので考えを改めていきたい。
- この早い時期からどんどん動いていかなければいけないと思った。
- 就職活動に必要な情報である就職サイトの使い方や活用方法、SPIやWebテスト対策に関する情報を教えていただき役にたちました。

【業界・企業研究シリーズ① 業界天気図 気になる業界の展望】

実施日：平成22年7月2日（金）

会場：講堂

講師：(財)南都経済センター

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分らなかった	全然分らなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	35	46	34	4	0	16	135	419	32.2%
社会	9	20	20	1	2	9	61	152	40.1%
合計	44	66	54	5	2	25	196	571	34.3%

- 各業種の大手企業の業界規模を知ることができてよかった。企業研究の参考にとっても役立つガイダンスだった。
- 業界の相関図がよくわかりました。
- やはりどの業界もIT化とのつながりは切れなれないと思いました。

- 希望業界というものを少し広げられたのではないかというふう思った。
- どんな業界・会社であれ、そこにある可能性を考えてみていくといいと思った。IT知識と英語力は絶対必要だと思った。社内公用語を英語にしている会社も増えている。
- 多くの業界において、ネットの影響が強く出ていることに衝撃でした。
- 企業がこれからどうなるのか、発展するのか・衰退するのかも考えて就活しなければならぬから、企業研究が重要だと思った。
- 企業研究の仕方、企業の強み、弱みがわかった。
- 産業界の流れから希望する業界について、これからの展望を考えるきっかけとなった。
- 業界でも様々な業界があると今日は改めて感じた。企業が元気になっていくために必要なものは私たちの考えなのである。
- 難しかった。それぞれの業界でそれぞれの問題があり、そのことをきちんと念頭に入れられるように企業研究をしたいと思えた。
- 売上でみると各企業の力関係(?)がわかりやすく、おもしろかったです。意識しないと見ないですからね…。
- 今回の講義では、様々なジャンルの企業を学びました。中には聞いたことのない企業もありました。故に私は、いかに自分の企業研究が浅はかだったのか痛切に感じました。世の中にはたくさんの企業があると気づいたので、今後の就職活動にも活かしていきたいと思いました。

【業界・企業研究シリーズ② 日経新聞・四季報・会社情報の見方】

実施日：平成22年7月6日(火)

会場：講堂

講師：キャリアセンター

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分らなかった	全然分らなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	16	40	22	1	0	12	91	419	21.7%
社会	14	10	12	0	1	10	47	152	30.9%
合計	30	50	34	1	1	22	138	571	24.2%

- 日経新聞をあまり読んでいなかったののでいい経験になったと思います。
- 日本経済新聞と四季報と会社情報の見方についての解説を聞く事によって見方のコツがわかったのよかったです。
- 一見安定してそうな会社でも実は赤字続きだったりと驚きました。
- 今までは全く読み方がわからなかった。日経新聞の読み方の要点を理解することができました。
- 四季報の見方がわからなかったので今回見方を教わるのができてよかった。はやく志望業界をきめて、四季報を使って業界研究をしていきたい。
- 社会の情報を得るために新聞などを見なければならぬことを自覚した。せめてニュースくらいは見ようと思った。
- 10月に実施されるセミナーにも都合が合えば参加したい。
- 新聞を読もうと思った、「就職セミナー」は授業とかぶって行けないのが残念だった。
- 就職活動を進める上で、経済の状況を把握するのは必要不可欠なことだと思った。
- どこも大変なんだと思いました。難しい言葉が多くて少し混乱しました。新聞とかもよく読むようにしたいと思います。
- 家が日経新聞を取っているのでも今でも読んでいたのですが、より読みやすくなりそうな知識が身についたと思います。
- 就職をする上で新聞の読み方・見方、そして景気・企業を見る目が養えるきっかけとなるガイダンスだった。

【就職ガイダンス (夏期休業はこのように過ごす+4年次生プチ体験談)】

実施日：平成22年7月9日(金)・13日(火)・16日(金)

会場：C-205教室

講師：キャリアセンター+進路決定の4年次生

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分らなかった	全然分らなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	84	33	11	0	0	18	146	419	34.8%
社会	12	6	5	0	0	9	32	152	21.1%
合計	96	39	16	0	0	27	178	571	31.2%

- さすがに内定をもらっている先輩は違うなと思いました。身近な人の意見や体験を聞いて本当にモチベーションが上がりました。次も絶対参加したいと思います。
- ためになるなと思いました。来年の夏には、先輩方のようになりたいなと思いました。
- 今回、先輩たちの話を聴けて気持ちを奮い立たせることができました。今日から「やるべきこと」を始めていきます。
- 企業研究レポートの大切さがわかった。
- 4年次生の話を生で聞いたのがよかった。なぜならば、たった1年前に同じことで悩んでいた人達が今は堂々と話していて、学生というより社会人だった。就職活動を行うことは、様々なことで自分へのプラスになると思った。
- 業種は広く見た方がいい。コンビニなどの商品がどこで作られているかなどみてみたい。
- 夏休み中に何をすればいいのかわかった。
- 就職する意志を示すきっかけになった。
- SPIの大切さ、自己分析の大切さ、メモをすることの大切さなどを学べた。バイトの中でも学べることがあることを知れてよかった。
- 先輩の体験談などを聞いて、何をすべきか、何から始めるべきかがわかり、就職に対し悲観的になっていましたが、考え方が変わった。

りました。

- 活動的な生活を目指す。

【3年次生キャリアガイダンス（進路に関する個人面談の実施について）】

実施日：平成22年9月17日（金）・21日（火）

会 場：教室棟

講 師：キャリアセンター

理解度学部別集計結果

（単位：人）

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	130	84	52	1	0	45	312	418	74.6%
社会	28	26	21	0	0	15	90	150	60.0%
合計	158	110	73	1	0	60	402	568	70.8%

- 不安なところがたくさんあったので、今回のガイダンスで教えていただいた個人面接、4年次生への相談会など活用させていただきたいと思います。
- キャリアガイドをかいつまんて説明してくれて、大切なところがよくわかった。これから私が何をすべきなのか、何に注意するかが少しだけ見えた気がした。
- 大学が提供してくれることを有効に活用したいと思う。
- いろいろサポートしていただけるんだと思いました。
- 就活が不安でしょうがない。相談に行こうと思った。
- 後期になり、就活への意識を高めるために良いガイダンスだったと思う。これからもガイダンスに出席して就活への知識・意識を高めて、少しでも自信が持てるようになりたいと思う。
- キャリアガイドを見ましたが、すごく盛りだくさんだったので帰ってからじっくり読もうと思いました。就活はすごく不安なことばかりですが頑張ろうと思いました。
- 行動に移さなければいけないと感じました。
- 個人面談などガイダンスはしっかり受け、自分の将来について考える。
- 今まで『就活』といっても何から始めていいのかわからなかったけれど、今日のガイダンスで何か一步開けたような気がします。
- 10月1日から就職サイトが本格的にOPENするように、いよいよ本格的になってきたと思うようになりました。焦ったり不安になったりすると思うけれど、キャリアガイドを駆使して勝気で行こうと思います。
- 前期よりも内容が深くてわかりやすかった。教職も公立と私立が分けられていてわかりやすかった。今後何をすべきかわかった気がする。
- 公務員一本か企業と両立しようか迷っています。個人面談で解決したいです。
- キャリアガイド（後期）の面接のやり方や履歴書の書き方等とても勉強になりました。

【就職ガイダンス（実践的就職サイトの活用について）】

実施日：平成22年10月1日（金）

会 場：C-102教室

講 師：(株)リクルート

理解度学部別集計結果

（単位：人）

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	82	44	19	0	0	22	167	416	40.1%
社会	17	9	7	0	0	4	37	149	24.8%
合計	99	53	26	0	0	26	204	565	36.1%

- 就職活動で、業種研究をする理由や進めるために何をすればいいのかがわかりました。ブックマークからエントリーまでの手順の説明がわかりやすかったのでよかったです。
- エントリーが10月1日からとはわかってはいたけれど、今日聞くことでやっと実感できました。余裕がなくてもがんばらなければと思います。
- 就職サイトの使い方の詳しいところが全くわかっていなかったの、細かいところまで聞いてよかった。エントリーするだけでちょっと緊張します。
- 今日はエントリーの開始日であるが、エントリーの内容がよくわかった。便利な機能があることがわかったの、フル活用して就職活動に挑んでいきたい。
- SPIの内容が様々で、過去問が体験できることがわかった。ミスマッチ就職する人が多いので注意することが必要だ。
- 自分は何がしたいのか、できるのか、もう一度よく考えてみたい。
- 今日の話聞いて、帰ってから早速就職サイトを見に行きたいと思いました。
- 就職サイトの具体的活用方法をわかりやすく解説してもらいとてもよかったです。10月1日というのもいい日程でした。

【就職ガイダンス（自己分析の完成）】

実施日：平成22年10月5日（火）

会 場：講堂

講 師：(株)内定塾

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	98	24	7	0	0	28	157	416	37.7%
社会	20	9	4	0	0	7	40	149	26.8%
合計	118	33	11	0	0	35	197	565	34.9%

- 解り易くて面白かったです。文章を書く事が苦手でも不安だったのですが、出来そうな気がしてきました。
- 今までよく分かっていなかった自己分析についてようやくわかってきた。
- 些細な経験でも、こんなに深く掘り下げて書けるとは思っていなかった。これからもそういった経験を見つけて掘り下げていきたい。
- どう考えどう動いたか。それが自己分析において大切なのだと感じました。
- 今までの自分の間違いを思い知った。逆にやる気もでた。
- 自己分析のやり方・重要性がよくわかった。この短時間でも自己分析できるなら、時間をかければもっと素晴らしいものができると思います。
- どうしても自己分析と聞くとアレルギー反応のように拒絶が続いていたのですが、今日のガイダンス中に聞いたことを実行すれば書けそうな気がしてきました。
- 面白かった。大学の人が話すよりも、実体験が多かったのがためになった。
- もっと聞いていたいと思える時間でした。自分でやる自己分析には限界があるので、お話を聞いてひらめくものを得ることができたのでよかったです。
- 今まで、どのようなことを書いたら面接官うけするかと言うことばかり考えていました。しかし、このガイダンスで自己分析をしっかり行い、どう考え、どう行動したかということをも自分なりに考え伝えることが大事だということを知りました。

【先輩による就職活動体験報告会】

実施日：平成22年10月8日（金）

会 場：C-102教室

講 師：進路決定の4年次生（3名）

このガイダンスは、夏期休業中に奈良大学にて10日間のインターンシップを行った3年次生が、企画、準備、当日の運営を行った。

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	50	18	6	1	0	20	95	416	22.8%
社会	6	4	5	0	0	6	21	149	14.1%
合計	56	22	11	1	0	26	116	565	20.5%

- 今自分が何をしたいのか、何をすればいいのかなどわからないので、キャリアセンターを活用していこうと思いました。
- 自己分析でアピールポイントをほりさげようと思います。
- とても勉強になった。何をしたらいいのかめどがついた。
- 司会者がたくさん質問してくれたので、いろんな話が聞けた。
- 企業の方の話も参考になったが、4年次生の話はリアルで勉強になった。また、同い年の学生が企画、進行をなさっていたのすごいなあと思った。刺激を受けた。
- 目標に向けて努力していきたいと思います。
- インターンシップ実習生が、一生懸命進行している姿がとてもよかったです。
- 履歴書、自己PRの書き方、生活の仕方といったことがよくわかった。今回はとても重要なものを吸収できた。
- 同じインターンシップ実習生が自信に満ちたような司会進行をしていて、私も彼らのように自信に溢れた行動をしていきたいと感じた。
- 就活をする自分がイメージをすることができないが、エントリーやブックマークはやっているの、気持ちを高めて就活をやっていけるようになって思った。
- やっぱりこのようなガイダンスがあると、めんどろと思っていなくても刺激になるので良い。

【就職ガイダンス（リクルートスーツの選び方・着こなし方）】

実施日：平成22年10月13日（水）

会場：C-102教室

講師：(株)ラガゾット

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	75	33	13	0	0	18	139	416	33.4%
社会	13	8	8	0	0	4	33	149	22.1%
合計	88	41	21	0	0	22	172	565	30.4%

- スーツにも様々な種類があり、用途によって着こなし方を変えなければいけないことがわかった。自分に合うリクルートスーツを
買いたいと思う。
- スーツがきちんと着れてやっと就活がスタートできるということを念頭におき、就活をがんばろうと思う。
- まだどのようなスーツを買えば良いのかわからない状態だったので、これを参考にして買いに行こうと思いました。
- スーツでどれだけがんばっても基本でしかないのだとわかりました。
- 大学の入学式で買ったスーツが、リクルートスーツとして着用できるかどうか、もう一度見直す必要があると思った。しっかり
スーツを着用して面接のスタートラインに立ちたい。
- いくら筆記試験や自己PRができていても、第一印象でつまづいては意味がない。細かい気配りが必要である。
- 今までの自分が知っていたスーツに対する勘違いが直ってよかった。
- 疑問であったネクタイに関して聞けてよかった。ボタンに関してなど、マナーや常識を知れてよかった。
- どんなスーツ選びをするのかの説明がわかりやすかった。たとえばスーツの歴史からスーツの持つ意味なども、意味をしっている
から使い方がわかるような気がした。新たに必要なものとかもわかったし、何がダメで何が大丈夫なのかというものを選ぶ時の参
考にしたい。
- スーツが一着しかないので、もう一着買って早く準備しないといけないと思いました。
- メモする事が多く、でてよかったと思える内容でした。

【就職ガイダンス（業種・職種研究の完成）】

実施日：平成22年10月15日（金）

会 場：講堂

講 師：(株)内定塾

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	69	35	7	0	0	18	129	416	31.0%
社会	17	13	2	0	0	3	35	149	23.5%
合計	86	48	9	0	0	21	164	565	29.0%

- 難しいと思っていたけど、もっとシンプルに考えればいいのかと思った。がんばります。
- 業界・職種研究について参考になった。視野を広げて、様々な業界や職種を眺めてみようと思った。
- 目標ができそうな気がする。
- 会社を名前だけで決めるのは、就職して長く続かず好ましくないのだと思いました。
- 仕事への「やりがい」を、社会への貢献度から考えた事がなかったので、参考になりました。
- 業種・業界研究の重要さがわかりました。
- 営業職でのやりがいの話（信頼が商品）がすごくわかりやすかった。自分は信頼されるのが好きなので、営業職も考えてみたい。
- 落ちることを怖がらないで、興味を持った会社はたくさん受けようと思いました。
- 営業は大変な仕事というイメージがありましたが、講座を聞いて非常にやりがいのある職種だと思いました。
- 職種に対する先入観をもう一度考え直してみようと思った。体験談を聞いていると、自分もがんばれるような気がする。就活は不安だけど、少し楽しみになった。
- 業界や職種との自己分析のマッチングにつながるヒントを得られたと思う。
- 知らなかった業種の意味がわかった。誤解していたものもありためになった。
- どんどん受けて落ちろって勉強になりました。
- 今までの自分の考え方がかわった。
- とても良い話が聞けた。自分のためになりました。やるだけやってみます。

【就職ガイダンス（エントリーシート・履歴書の書き方ー初級編ー）】

実施日：平成22年10月19日（火）

会 場：講堂

講 師：(株)内定塾

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	164	43	9	0	0	20	236	416	56.7%
社会	34	11	9	1	0	11	66	149	44.3%
合計	198	54	18	1	0	31	302	565	53.5%

- 履歴書とエントリーシートの違いから、内容・書き方など詳しく知ることができました。自己PRできることをもっと見つけて、
アピールできるようにがんばります。
- とてもわかりやすく、就活をすることに対して自信が持てました。
- すごくわかりやすかったです。しっかり自分を分析し企業を分析して、エントリーシート等をしっかり書いていこうと思いま
した。
- 今からやらなければならない事が多すぎて、何をやればいいのかかわからない状況だったが、今すぐ業界研究をやって就活への意欲
を高めたい。
- 自分を追求するという事は、自分を磨くことだと感じた。これから趣味（特技）を見つけていない人でも、今から発見できる

チャンスがあると感じる事ができたと思う。

- 履歴書・ESを書くことは、とても難しいということがわかりました。今のうちに出来ることをしっかりやって、納得のいく就活をしたいと思う。
- 履歴書の書き方のコツがわかった。私は教員採用試験を受ける予定なので就活はしないつもりだが、就活についてもよくわかったのでよかった。
- 企業研究を熱心に行って自己分析もして、自分の夢をかなえたいと思いました。
- 自己PRの難しさを知った。具体例を引き出し、学歴や趣味などの書き方を教えてくれたため、最後まで飽きることなく聞くことができた。多分、多くの人と話して聞いているからだろう。私も多くの人と話し、意見交換や情報収集を深めたい。
- 企業も少し考えてみようと思いました。(現在公務員志望です)
- 人事の方としての視点から語っていただけることが多いので、すごくありがたかったです。

【就職ガイダンス (U・Iターンの成功の秘訣)】

実施日：平成22年11月9日 (火)

会 場：C-102教室

講 師：(株)アイバック

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	44	27	5	0	0	8	84	416	20.2%
社会	7	8	4	0	0	3	22	148	14.9%
合計	51	35	9	0	0	11	106	564	18.8%

- たいへんわかりやすかったです。Uターンよりも地元大学の人のほうが有利だと思っていたので、今日の話でやる気を持ってました。
- 今までのガイダンスではあまり聞けなかったお話(家族とのコミュニケーション、探し方、地方と首都圏の違いなど)があり、とても役に立ちました。
- 早く動くという努力。
- 就職活動がんばろうと思えました。地元への就職ということで不安が大きかったのですが、自分で動くことで解消できるのだとわかり意欲がわきました。
- 地元の企業に就職するメリット、デメリットが良く理解できた。
- 就社・就業・就職・就人の話がよくわかった。
- “地方企業に対する誤解”ありました。でも今日で変わりました。やっぱりUターンしようと思います。
- U・Iターンの準備をしていく必要があることがわかった。できることからはじめていきたい。
- HPからは分からない“社会”を会社に行ってしっかり見て、自分と合う企業をさがしていきたいと思う。
- 地方の企業も積極的にさがしてみようと思いました。キャリアセンターも利用するようにします。
- 就活で成功する三原則を意識してこれからがんばりたいと思う。
- 大手企業に絞るすぎるのはあまり良くない、中小企業も選ぼうというのを考えさせられた。
- U・Iターンをするには、スケジュールングなど大事なことがわかった。

【就職ガイダンス (エントリーシート・履歴書の書き方-実践編-)】

実施日：平成22年11月17日 (水)

会 場：C-102教室

講 師：キャリアセンター

理解度学部別集計結果

(単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	73	47	16	0	0	30	166	416	39.9%
社会	24	20	7	0	0	8	59	148	39.9%
合計	97	67	23	0	0	38	225	564	39.9%

- 自己分析が足りないためにエントリーシートや履歴書に書くことが思いつかなかった。自己分析から始めてみようと思った。
- 最近ゼミの発表等で就活を完全に放置していたのですが、どんなに忙しくても毎日のノルマを設定し、こなしていかなければならないと思いました。
- 他の人が書いた履歴書を添削することで客観的に見る事ができた。多分、私も中身の無い履歴書になっているであろうから、考え直さなければならぬと感じた。再度自己分析をしようと思う。
- 今回、履歴書ふたつの文の読み比べで、ダメな方のサンプルが殆ど自分に充てはまる場所が多かったので、良い書き方にプラス、自分のいつもの個性や味が加えられるよう、遅いスタートながら立ち向かっていきます。
- 夜遅くてもいいから毎日新聞を読む。履歴書の練習をしてみる。
- 履歴書に書くだけの内容がない。うすいと感じた。自己分析をもっと知らなければいけない。
- 私に足りないものは、「自分の強み」を知ることで、志望企業について深く調べる努力も必要と思いました。それを今後がんばって行きます。
- 自己分析がまだ不完全なので、これを持って履歴書を取りあえず書いてみたい。書きます。
- 人の履歴書の失敗を見ることによって、自分が何を書き、どのように書けばよいかわかった。忘れない2日以内に書きます。
- 勝手な既成概念はかなり持っていたと思う。もっと自己を特定するような内容でアピールをしなければならないし、字の大きな

ど細かい部分にまで気をつけようと思う。

- 既成概念に気をつけてもう一度書きます。足りない自己分析もします。
- 自己分析をしなければ履歴書やエントリーシートは書けないと強く感じた。自己分析をやります。

【就職ガイダンス（就職活動どこまで進んでいますか？ 活動の「振り返り」と「これから」）】

実施日：平成22年12月3日（金）・7日（火）・8日（水）

会 場：C-302教室

講 師：キャリアセンター

出席状況 (単位：人)

学部	出席者数	在籍者数	出席率
文	143	414	34.5%
社会	57	148	38.5%
合計	200	562	35.6%

【マナー講習会（面接で使えるマナーPART1 -言葉遣いと入退室-）】

実施日：平成22年12月10日（金）

会 場：講堂

講 師：トータルマナー(株)

理解度学部別集計結果 (単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	88	34	9	0	0	14	145	414	35.0%
社会	25	8	6	0	0	5	44	148	29.7%
合計	113	42	15	0	0	19	189	562	33.6%

- 様々なマナーが学べ、就活に少し自信ができました。
- 習慣というのはこわいと思いました。今日聞いたことを普段から気をつけようと思います。
- お辞儀の仕方など、詳しく説明していただいて参考になった。日ごろから心がけて言葉遣いなどを身に付けていこうと思う。
- 毎日家で必ず練習したいと思います。学生の常識ではなく、社会人の常識を自分は身につけているということを示すことができるようになりたいです。
- 第一印象で面接は全て決まってしまうという恐ろしさを痛感させられた。自分は滑舌が悪いので、口の体操をしっかりと実践したいと感じた。思っていることをしっかりと相手に伝えるということを普段の生活の中でも取り入れたい。
- 今日は、実践あるのみ！！と感じた。まだ時間があるので、チャンスがある時にやる必要がある。この土日は練習を続けていきます。
- お辞儀のマナーや言葉遣いのマナーなど、面接上のマナーの一環をきちんとできるように積極性等を磨く。
- 久しぶりにマナー講習を受けて身がひきしまりました。アルバイトでも活用して練習したいと思います。
- 身につくよう家やアルバイトでやってみます。
- 理解はできるけれど難しいです。
- 大学の講義を全部コミュニケーションにすればよいと思った。
- 練習が必要。

【マナー講習会（面接で使えるマナーPART2-面接官とのやりとり-）】

実施日：平成22年12月14日（火）

会 場：講堂

講 師：トータルマナー(株)

理解度学部別集計結果 (単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	117	27	7	0	0	14	165	414	39.9%
社会	29	9	8	0	0	6	52	148	35.1%
合計	146	36	15	0	0	20	217	562	38.6%

- 舞台上に上がって面接すると、思った半分も言えなかった。
- 前に出て自分の立ち振る舞いが分からなかったが、今日のガイダンス、前回のガイダンスに出席して今後役に立てていきたいと思った。
- どの質問をされても自己PRというお話をお伺いしたので、キャリアガイドに記載されている質問には答えられるように準備しておきたいです。
- 実際にひとの前に立つと、思っていた事が言えないと思った。面接の練習ができたし、プロの方に教えていただいたので自信ができました。
- 本番では緊張してしまうことがわかった。家で練習をして本番に望もうと思います。
- 実際に面接の形で面接を行うと、少ない練習時間だと上手くできないのだと痛感しました。注意を受けたことが誰よりも多かったと感じましたが、注意されたことを改善し、より良い面接になるよう練習を続けていきます。
- 自分は勇気がなかったので前で面接はわりでしたが、一歩前に進む勇気をもって明日からやっていく。

【模擬面接会】

実施日：平成23年1月9日（日）・23日（日）

会 場：教室棟

講 師：(株)内定塾

出席状況 (単位：人)

学部	出席者数	在籍者数	出席率
文	87	414	21.0%
社会	24	148	16.2%
合計	111	562	19.8%

- 緊張すると早口になり、表情もかたくなっていることに気づきました。そして、自己分析、業界・企業分析が不十分だと改めて感じました。
- 最初に姿勢のことを注意されたので、そのことを意識して残りの2回は面接できました。緊張して話が止まったことがあったので気をつけたい。志望理由が自分の中で弱かったので、話を詳しく聞かれた時にしんどかった。
- 自分のダメな所を気づけた。会社の利益の為に自分はどうするのかをしっかりと考えることが出来なかった。
- 思っていたより評価されて驚きました。自分ではダメダメだと思っていたので。
- 目が泳いでいると指摘を受けました。具体的に話すようにする。もっと自信をつけて堂々として受け答えをしたいと思った。相手にどう見られているか、意識していきたい。
- グループディスカッションを受けて、自分の積極さが足りないと思いました。自分の意見をまったく言えずだまりこんでしまっていた。どんどん意見を言わなければと思いました。
- この前受けた二次選考で、集団面接があり、なぜ落ちたのかわかったと思う。もう一度考え直し、何を聞かれても自分の言いたいことを考えるようにしたいと思う。
- いろいろ考えているだけだったので行動に移さなければいけないと思い知らされた。
- 自分が思っていたよりも笑顔ができてないんだなあと思いました。これから鏡を見ながら練習したいと思います。
- 面接の場で緊張して言葉が上手く出てこなかった。自分の考えの要点を的確にして、まとめて話せるようにならなければならない。
- 緊張して頭が真っ白になりましたが、面接の際にそれが良いと言っていたいただいたので、あんまり気負わないようにしていきたいと思います。次はもっとがんばります。
- 自己分析がまだまだ不足していると感じたので、改善したいと思います。

【メイク講習会（女子学生限定）】

実施日：平成23年1月11日（火）

会 場：C-201教室

講 師：(株)コーディネーションフォーラム

理解度学部別集計結果 (単位：人)

学部	良く分かった	まあまあ分かった	普通	あまり分からなかった	全然分からなかった	未回答	出席者数	在籍者数	出席率
文	51	10	0	1	0	5	67	183	36.6%
社会	11	2	0	0	0	1	14	41	34.1%
合計	62	12	0	1	0	6	81	224	36.2%

- メイクのことだけでなくマナーのことも教えていただいたので、すごく為になりました。
- とても楽しい講習会でした。これで説明会や面接でも胸を張って出来そうです。
- メイクのコツがわかってよかったです。家に帰って学びなおしたいと思いました。
- メイクといってもビジネスメイクとオシャレメイクの違いが大きいことに気付かされた。メイクで分からないことも今日知ることが出来たので勉強になった。
- 自分の思っていたメイクとは違って知らないことが多くあった。明日から練習しよう…。
- メイクを練習する！
- 大変勉強になりました。是非実践していきたいと思います。
- 知らないことが多くてびっくりしました。でも楽しくできて良かったです。もっと時間が長ければいいのに。
- 本当によくわかりました。家に帰って練習します。

<キャリアサポーターの設置>

就職活動を控える学生にとって一番身近な相談者でもあり、就職活動の直近の体験者でもある先輩（4年次生）が、就職活動のアドバイザー（呼称：キャリアサポーター）としてキャリアセンターに常駐することによる、キャリアセンターの利用促進を図った。就職活動予定者が最もキャリアセンターを利用する10月初旬から11月下旬まで、積極的に就職活動を行った4年次生（男6名女4名 合計10名が1日に2人ずつ）が、キャリアセンターで後輩の相談に応じた。その結果、10月は在学者数が多かった昨年度をも上回る相談者数であった。駐在期間でのキャリアサポーターによる相談件数は昨年度より増加した。

また、キャリアサポーターとして参加してくれた4年次生については、自らが後輩の手本として率先して行動するなどの相乗効果が見込まれ、より一層の能力向上に努めてくれることを期待した。キャリアサポーター10名に実施後に行ったアンケートの集計結果は資料17のとおり。

【資料17】キャリアサポーターアンケート集計結果

【制度自体について】

1. 後輩にとって、キャリアサポーター制度は有益な制度だと思いますか？

a. 思う	b. 思わない	c. どちらとも言えない
9人	0人	1人

「思う」理由

- ・身近な立場で話をきける人は必要だと思うから。
- ・就職活動を経験した先輩の情報を得られるから。
- ・身近な経験者と話せるので、小さな悩みを聞きやすいから。
- ・身近な先輩からの話を聴いて、就職活動が何か分かるし、より早いスタートが切れそう。
- ・就職活動を経験した4年生の生の声を聞けるのは有益だと思うので。
- ・サークルやクラブに入っていない子にとっては、唯一の先輩となるから。
- ・基本的すぎて、職員の方にお伺いしづらいことも、1つ上のサポーターになら話せるかもしれないので。
- ・実際に経験した生の声を聞けるから。
- ・不安等を少しでも気楽に相談できる環境作りが大切だから。
- ・自分の就職活動が、後輩に役に立てば、いい制度だと思う。ただ役に立てない事も多い。

2. 実施場所について、どこが一番適切な場所だと思いますか？

a. キャリアセンター	b. 学生ラウンジ	c. 特別に用意した場所（会議室のような部屋）	d. その他
10人	2人	0人	0人

※2名複数回答

3. 実施時間・期間について（複数回答可）

a. 今のままで良い	b. もっと早い時間が良い	c. もっと遅い時間が良い	d. 時間は短い方が良い	e. 時間は長い方が良い
3人	1人	0人	0人	1人
f. 実施期間を短くした方が良い	g. 実施期間を長くした方が良い	h. 実施時期を早くした方が良い	i. 実施時期を遅くした方が良い	j. その他
0人	7人	2人	3人	1人

【その他】10月頃と1月に出来たら良いと思う。

理由

- ・実施期間が終わってから、後輩に「まだキャリアサポーターやっていますか？」と連絡が多く来たから。
- ・1月と2月は就活生にとって不安のピークだと思うから。
- ・11月頃は、就活について何も感じていない人が多いと思うので、時期を長くするか、遅くした方が良い。
- ・時期的に早く、就活に対する意識が高い人しか来ないのではないと思う。
- ・11月の合同説明会からやっと就職活動を意識し始める人が多いと思うので。
- ・夜に近づく17時までより、もっと早い時間から始めた方が良いと思います。
- ・もっと早くからコツコツ準備する方が、色々な事を教えられるから。
- ・今回実施した期間は、学園祭期と重複している為、もう少し期間を長くした方が多くの3年次生に利用してもらえるから。

4. サポーターの一日あたりの人数について、適切な人数は何人だと思いますか？

a. 1人	b. 2人	c. 3人	d. 4人	e. 5人以上
0人	9人	0人	0人	1人

5. 実施方法（内容やサポーターの有効な活動など）について、いいアイデアがあれば、聞かせてください。

- ・もう少しこちら側から歩み寄れるような場があれば、みんなもう少し利用してくれるかなと思います。ガイダンスなどで…。
- ・実施期間をもう少し長くした方が、もっとたくさんの就活に対する意識を持った人と関われると思います。相談だけでなく練習とか。
- ・自分もそうだったが、キャリアサポーターの話を聞きに行こうと思わなかったのが、後輩達が聞きやすそうな感じをつくったら良いと思う。学生だけの部屋をつくったら良いかもしれない。
- ・今のままの期間で第1期、1月～2月前半で第2期として実施する。
- ・時間が空いている時もあったので、雑用などどんどん働かせても良いと思いました。何もしない時間は、申し訳ない気持ちになります。

6. キャリアサポーターの立場から見た後輩の印象などを自由に書いてください。

- ・就活を積極的にしている子の方が輝いて見え、就活も上手くいくと推測することができる。
- ・キャリアサポーターの話を聞きに来てくれる後輩達は熱心な場合が多いので、不安を抱えながらも活き活きとした感じの印象を受けた。
- ・就活に取り組もうという姿勢の子とそうでない子の差が激しい。
- ・しっかり危機感を持って就活をしている子と、そうでない子の差がものすごく大きいと思う。
- ・サポーターの話をわざわざ聞くために来てくれた子が多く、就活を早くからしている子とそうでない子の差が大きそうに感じた。
- ・ガイダンスに出ていない子が多すぎると思いました。でも一度話を聞きに来た子は、積極的に活動しようという意欲が見えてくることが多いので、素直だなと思いました。
- ・みんな悩みをぶつけてくれて嬉しかったです。
- ・まだ就活をする気のない人達ばかりだった。自分が3年次生の時もそうだった。
- ・しっかり分析を進めている人と、どうでない人との大きな差があった。
- ・入退室の姿や、不安そうな顔を見ると、3年次生だなと気づきます。話を聞きたいけど、入りづらそうな子もいて、声を掛けたら安心したように相談してくれました。

【あなた自身について】

1. キャリアサポーターの打診があった時の正直な感想を聞かせてください。

- ・私で大丈夫かなと思いました。関西と地元での就活を約1年してきたので、少しは役に立てると思い引き受けました。
- ・頼りにされて嬉しかった。
- ・打診の意味がわからなかったです。
- ・凄く嬉しかったです。学科で男子一人だったので就活の結果だけでなく、人間性も見えてくれたと思った。
- ・私で大丈夫かなあという思いと、サポートできるという嬉しい気持ちでした。
- ・自分が後輩の力になれるのかとても不安でしたが、小売業はたくさん受けてきたので、少しでもアドバイスできればと思い、嬉しかったです。
- ・はじめは、私で大丈夫なのかと少し不安だった。だが、就活で自分が感じたこと、やってきたことが後輩の役に立つならと思った。
- ・打診があって嬉しかった。
- ・自分が今までやってきたことが認められた嬉しさと、サポーターとしてアドバイスできるような立派な活動はしてきていないという不安。
- ・正直面倒だと考えていました。

2. キャリアサポーターを受けるにあたって、準備したことはありますか？ あれば記入してください。

- ・就活ノートを見直し、どのような就活をしていたか思い出した。
- ・就活中の記録を書いたメモ帳を見直しました。
- ・就活した時に使っていた資料やノート。
- ・今までの就活ノートなどを見直したりした。
- ・セミナーなどでメモをしたり、就職活動講座で教わったことをメモしたりした、昔（1～5月）のノートを見てました。
- ・就活中のノートや履歴書・エントリーシートを見てどのように考えていたかを思い出したりしました。
- ・就活の時に使っていたものと、記憶をひっぱりだして来ました。
- ・自分が就活で使っていた道具、自己PRとか色々書いていたノートなどを見た。
- ・就活に使ったノートを読み返したくらいです。
- ・就活で使用した手帳やノート、ES・履歴書を見返し、私も1年前はどれだけ無知だったのかなどを振り返りました。

3. キャリアサポーターを受けるにあたって、何か目標を設定されましたか？

例) 自分自身を成長させる、人と話す（相談する）ことに慣れる など

a. 設定した	b. 設定していない	c. どちらでもない
6人	2人	2人

aと答えていただいた方は、差し支えなければ内容を聞かせてください。

- ・3年次生の気持ちを考えて、自分も同じだったということを優しく伝えようと心がけました。あと、常に笑顔で迎えることです。
- ・人の話を聞くこと。
- ・不景気の中、大手の企業だけではなく、色々な企業に目を向けてもらえるように頑張った。
- ・就活の相談だけではなく、就活に対する恐怖心みたいなものを取り除きたいと思っていた。
- ・就活の話から入るだけでなく、普段の様子などの話をして、一人の人として接するようにしました。そうすれば自然と就活の話にもっていきました。
- ・話を聞いてもらって、就職に対する不安がやわらいだと感じてもらえるようにしようと思っていた。

4. キャリアサポーターとして、一番良かったことは何ですか？

- ・何回も来てくれる子や、連絡をくれた子が相談しに来たこと。不安で入って来た子が、笑顔で帰って行く姿を見ると、本当に良かったと思いました。
- ・いろいろな人の思っていること、経験してきたことを聞いたこと。
- ・こんな自分の話でも、聞いて良かったとか、来て良かったって言われたこと。
- ・悩んでいた子が、元気ハツラツとして、帰っていった時。
- ・話を聞いて、やる気になってくれたこと。
- ・半年前ほどの自分を再確認、振り返れたことです。少しでも後輩の力になっていれば嬉しいです。
- ・毎週来てくれる子が、日々成長していくのを感じた時。
- ・アドバイスしたことを取り組んでくれ、経過を報告しにきてくれる子がいたこと。
- ・自分よりも就職活動を頑張っていたサポーターの人たちに会えたこと。
- ・自分が就活していた時を思い出し、やる気が出てきた。

5. キャリアサポーターとして、一番嫌だったことは何ですか？

- ・誰も来ない時間が本当に苦痛でした。どうやったら来てくれるだろうとか、力不足だなと感じました。
- ・こちら話を聞かない人や、逆に何でも聞く人がいたこと。
- ・暇すぎる時間。
- ・誰も来なくて、暇だった時。
- ・自分のことなのに、他人の進路のように考えている子がいたこと。
- ・ないです。
- ・特にない。
- ・なし。
- ・雨の日のシフト（来るのが大変でした。）
- ・特にありません。

6. キャリアサポーターの経験を通して、何か自身の変化（成長）はありましたか？

ある場合は、その内容を記入してください。

- ・3年次生にもっと協力したいと思いました。部活の後輩が就活の相談をしてきたり、こんな私でも頼って来る子がいるんだと感じました。
- ・いろいろな人とコミュニケーションをとることができた。
- ・4年次生の人と仲良くできた。
- ・後輩に対して、少し寛大になれたと思います。
- ・就活中の自分の気持ちを改めて思い出したことによって、会社に対する気持ちもよりよいものになりました。
- ・就活を頑張っていた初心を忘れてはいけないと思いました。
- ・キャリアサポーターをすることで、就活時の思いを思い出したり、社会人として働くということについて、再びしっかり考え行動するようになった。
- ・聞き入ることを身に付けた。

7. キャリアサポーターの活動で、自身の「自立心」「行動力」「向上心」が少しでも身に付いたと思いますか？

a. 思う	b. 思わない	c. どちらとも言えない
5人	1人	4人

aと答えていただいた方は、身についた能力とその内容を聞かせてください。

- ・身近な後輩に連絡し、キャリアセンターに足を運ぶように言ったり、相談に乗って欲しいと言われてたら、時間を作り、話をしたりしました。
- ・相談に乗ること。うまく相手の不安を軽くしてあげる力。
- ・向上心は身についた。もっと人の話を聴いて、喜んでもらいたいと思います。
- ・向上心です。就職が決まったからといって、向上する努力をあまりしていなかったの。
- ・「行動力」「向上心」！来年から社会人になるための準備として、色々な社会人の方々に営業の極意などのお話を聞こうという思いを起こしてくれたのは、キャリアサポーターとして後輩達にアドバイスをする中で「働く」ことについて、考えさせられたから。

8. キャリアサポーターとして、実際に行った内容以外に何かしたい（できる）内容はありますか？ あれば記入してください。

- ・もっと後輩が気軽に入ってくれるように、看板とか、宣伝とか…etc
- ・分からないけど、色々挑戦したいです。
- ・一緒に練習したい。面接とか。
- ・もっとこれから、積極的にいけるような何か。

9. 最後に自分の将来を考えた時、キャリアサポーターを引き受けて良かったと思いますか？

a. 思う	b. 思わない	c. どちらとも言えない
9人	0人	1人

「思う」理由

- ・就活で不安だった頃の私を支えてくれたキャリアセンターの方々に少しでも恩返しができたかなと思います。自分自身の成長の場を与えてくれて本当に感謝しています。
- ・人と話をする事は、自分の財産です。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・良かったと思う。話をする仕事はあまりないことだから。楽しかったです。
- ・これから年下の子ども関わるが多くなっていくので、どのように話掛けたり、分かりやすく話するにはどのような言葉をつかう方がいいのかということが身に付き始めたと思うので、やってよかったなと思います。
- ・自分も同じ道を通ってきたので、自分が不安に思っていた基本（メールのやりとり、メイクなどいろいろ）を、少しでも消してあげることができればと思い、サポーターとしてさせていただきました。自分も成長できました。
- ・人にアドバイスをするために自分ももう一度勉強する、ということは将来の後輩指導などにも役立つ経験だったと思うから。
- ・人の相談にのることが少なかったので、相談の受け方やアドバイスの仕方を学べてよかったと思う。
- ・他の人ができない経験をさせてもらったので良かったと思います。こういう役立ち方もあるということが分かりました。
- ・周りの人と良いコミュニケーションの場となったから。

集計結果から、今年度キャリアサポーターも社会に出る前の心境と、個人の成長意欲がよく伺え、キャリアセンターの利用や、キャリアサポーターの能力向上に大きな成果を生んだと見ている。

<キャリアカウンセラーの配置>

3年次生の就職活動が本格化する中、4年次生の厳しい就職環境は一向に回復せず、急激に悪化した2009年春卒業生の就職率より更に低下することが予想された。その対応として4年次生の個別支援充実を図るため、11月よりキャリアカウンセラーを1名配置した。求職学生が相談できる態勢を整え、機会を増やすことで、就職率の改善（回復）を図る他、厳しい就職環境下での就職活動のつまずきから自己肯定感を喪失している学生が多く見受けられたため、自信を取り戻してもらう細やかな対応を目指した。結果、相談件数では、当初の予想を上回る学生が活用してくれた。また、電話によるカウンセリングなども行ったため、その後の来室等にもつながった。カウンセリング後、遠ざかっていた就職活動を再開する学生も現れた。

しかし、キャリアセンター全体としての利用は例年を下回った。特に11月は相談者数が大幅に減少した。経済状況悪化に伴う就職環境への危機感は3年次生も大いに持っていたと思われるが、全体としてキャリアサポーター制度の導入前よりも相談者が減少している状況である。18年度～22年度の月別相談件数は資料18のとおり。

【資料18】キャリアセンター相談件数一覧（平成18年度～22年度）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成18年度	文学部	218	190	265	197	54	126	166	233	275	147	216	210	2,297
	社会学部	154	162	171	96	41	74	107	125	132	107	109	68	1,346
	合計	372	352	436	293	95	200	273	358	407	254	325	278	3,643
平成19年度	文学部	311	235	242	194	75	130	178	251	272	251	244	231	2,614
	社会学部	117	112	83	59	10	44	83	72	89	69	57	67	862
	合計	428	347	325	253	85	174	261	323	361	320	301	298	3,476
平成20年度	文学部	270	203	245	210	69	107	170	255	246	212	178	181	2,346
	社会学部	67	66	81	67	39	59	98	84	51	37	48	34	731
	合計	337	269	326	277	108	166	268	339	297	249	226	215	3,077
平成21年度	文学部	246	147	206	144	64	141	275	266	222	208	232	161	2,312
	社会学部	57	34	52	45	9	36	93	96	102	68	64	51	707
	合計	303	181	258	189	73	177	368	362	324	276	296	212	3,019
平成22年度	文学部	201	125	158	186	75	130	272	169	162	185	242	76	1,981
	※1	0	0	1	7	1	0	5	16	21	28	46	56	181
	社会学部	57	54	61	37	24	31	122	51	50	41	43	13	584
	※1	0	0	4	0	0	1	0	0	9	26	3	19	62
	小計	258	179	219	223	99	161	394	220	212	226	285	89	2,565
	※1	0	0	5	7	1	1	5	16	30	54	49	75	243
合計	258	179	224	230	100	162	399	236	242	280	334	164	2,808	

※1 下段は外部キャリアカウンセラーによる相談件数

※2

※2 平成22年度3月については、平成23年3月19日現在までの相談件数

②今後の課題

就職活動支援としては、年毎の就職環境が大きく影響するため、進路決定状況の結果のみで成否の判断は難しいところであるが、ガイダンスの理解度をみる限り、概ねキャリアセンターの期待に近い状況であった。しかし、実際の活動直前でも事前の準備（認識）不足の学生や、目先の作業（単に履歴書を書く、もしくは企業説明会のエントリーに終始しているなど）のみに追われている学生が見受けられる状況である。また、2-2（P. 19・20）で記載した2年次生のキャリア意識アンケートにおいても、就職環境に対して危機感を持っているものの、準備開始予定時期に格差があることなどを考え、次年度は、前期において各自の自己分析および活動計画の徹底を推し進める必要がある。キャリアカウンセラーの配置については、利用者数、利用学生の感想などから一定の効果があったため、次年度は早い時期からの配置の必要がある。

【資料 19】卒業生（2009.3 卒業）評価調査集計結果一覧

- 設問 1. 上司やお客様の意見をしっかりと聴ける（協働力）
 設問 2. ストレスを上手くコントロールしている（協働力）
 設問 3. 状況に応じ柔軟に対応ができる（協働力）
 設問 4. 自分から積極的にコミュニケーションを図っている（行動力）
 設問 5. 苦手業務にも自ら取り組んでいる（行動力）
 設問 6. 何事においても積極的に行動している（行動力）

- 設問 7. ワンランク上を目指し、目標設定をしている（向上心）
 設問 8. 納得がいくまで業務を遂行するよう努力している（向上心）
 設問 9. 自分の業務をしっかり見直し課題を明確に持っている（向上心）
 設問 10. 自分自身を確立している（自立心）
 設問 11. 生活面でも自己管理ができている（自立心）
 設問 12. 将来に夢をもって業務にあたってている（自立心）

（単位：ポイント）

学 科	性別	該当者数 (人)	回答数	回答率 (%)	設問1 (75.0)	設問2 (75.0)	設問3 (75.0)	設問4 (75.0)	設問5 (75.0)	設問6 (75.0)	設問7 (75.0)	設問8 (75.0)	設問9 (75.0)	設問10 (75.0)	設問11 (75.0)	設問12 (75.0)	平均 (75.0)				
国文	男	25	9	36.0	3.56	3.11	2.89	3.00	3.33	2.89	3.00	3.22	2.67	3.11	3.56	3.00	3.11				
	女	26	6	23.1	4.17	3.33	3.33	4.17	3.50	3.83	3.67	3.67	3.33	3.67	3.83	3.83	3.69				
	計	51	15	29.4	3.80	3.20	3.07	3.47	3.40	3.27	3.27	3.40	2.93	3.33	3.67	3.33	3.34				
史学	男	49	20	40.8	4.00	3.55	3.60	3.65	3.60	3.75	3.75	4.00	3.60	3.55	3.80	3.65	3.71				
	女	31	7	22.6	4.00	3.29	3.00	3.00	3.14	3.14	3.43	3.57	3.57	3.29	3.14	3.14	3.35				
	計	80	27	33.8	4.00	3.48	3.44	3.48	3.48	3.59	3.67	3.89	3.59	3.48	3.63	3.63	3.61				
地理	男	36	13	36.1	40.80	3.85	3.31	4.00	3.92	4.00	3.92	3.77	3.85	3.23	3.31	4.00	3.77				
	女	11	4	36.4	4.25	4.00	4.50	4.25	4.00	4.25	4.25	4.00	4.00	4.25	4.25	4.00	4.17				
	計	47	17	36.2	4.12	3.88	3.59	4.06	3.94	4.06	4.00	3.82	3.88	3.47	3.53	4.00	3.86				
文化財	男	24	7	29.2	4.29	3.71	3.71	3.71	3.86	4.00	3.71	4.00	4.00	3.57	3.86	3.71	3.85				
	女	35	7	20.0	4.50	3.71	3.57	3.71	3.43	3.71	3.67	3.86	3.71	3.57	3.86	3.50	3.72				
	計	59	14	23.7	4.38	3.71	3.64	3.71	3.64	3.86	3.69	3.93	3.86	3.57	3.86	3.62	3.78				
人間関係	男	29	5	17.2	4.40	4.40	3.80	3.60	3.80	3.80	4.20	4.20	4.00	3.80	4.00	4.00	4.00				
	女	18	9	50.0	4.11	3.67	3.33	4.11	4.00	4.22	3.44	4.11	3.56	3.67	3.89	3.44	3.80				
	計	47	14	29.8	4.21	3.93	3.50	3.93	3.93	4.07	3.71	4.14	3.71	3.71	3.93	3.64	3.87				
現代社会	男	46	12	26.1	3.83	3.67	3.33	3.42	3.58	3.17	3.42	3.33	3.50	3.67	3.75	3.67	3.53				
	女	10	3	30.0	4.00	4.00	3.67	3.00	4.00	3.67	3.67	4.00	3.67	4.33	3.67	3.33	3.75				
	計	56	15	26.8	3.87	3.73	3.40	3.33	3.67	3.27	3.47	3.47	3.53	3.80	3.73	3.60	3.57				
合 計	男	209	66	31.6	3.98	3.65	3.42	3.59	3.67	3.61	3.65	3.74	3.58	3.47	3.68	3.67	3.64				
	女	131	36	27.5	4.17	3.61	3.47	3.75	3.64	3.81	3.63	3.86	3.61	3.69	3.75	3.60	3.71				
	計	340	102	30.0	4.05	3.64	3.44	3.65	3.66	3.68	3.64	3.78	3.59	3.55	3.71	3.64	3.67				
能力					協働力					行動力					向上心			自立心			
男					3.69					3.62					3.66					3.61	
女					3.75					3.73					3.70					3.68	
計					3.71					3.66					3.67					3.63	

2-5 卒業生評価調査の実施

①実施状況・成果

本学で育成を目指す自立心・行動力・向上心を、実社会ではどのように評価されているか、またその到達度合を把握することにより、今後の育成プログラムの変更・改良を行う際の基礎データとするため、卒業後2年目を迎える卒業生の在籍企業・団体305社（340名分）に対し、卒業生評価調査を実施した。調査結果は資料19のとおり。

結果として、昨年度も能力が高いとして評価いただいた「上司やお客様の意見をしっかりと聴ける」や「業務を遂行する努力」などは今年も他と比べ高い評価をいただいた。またその反面、「柔軟な対応や、自分の業務をしっかりと見直し課題を明確に持っている」などの項目は、昨年度と同様に低い評価となった。

②今後の課題

昨年度および今年度調査対象卒業生とも、本取組前の卒業生のため、取組としての成果とは、直接的に関与しないものの、2年連続で同様の調査結果がでたことから、やはり本取組推進の重要性が浮き彫りとなった。「真面目だが消極的」とのイメージを覆せるよう、本学卒業生が実社会からも「自立心・行動力・向上心」を備える、「真面目」との評価に加え、「積極的な行動」、「高い向上心」を持った人材との評価がいただけるよう、取組の充実を図る必要がある。

2-6 参考資料

①3年次生個人面談実施状況

キャリアセンターとの関わりが少ない学生や、進路状況の確認ができない学生が、進路を明確にできなかったり、また最終的な進路決定にまで至らない場合が多く見られる。そのため、例年3年次生の秋に実施している個人面談について、今年度は原則学生の希望により面談を実施したものの、面談実施率の向上を目標に掲げ、面談実施期間を延長し、メールによる連絡なども利用し、申し込みのない学生には個別での連絡をするなどして、一人でも多くの学生の状況把握に努めた。資料20はその実施状況である。

【資料 20】 3年次生個人面談者数一覧

面談実施時期：平成22年10月13日～平成23年1月31日

学 科	在籍者数（人）※	面談者数（人）	面談率（%）
国 文	85	70	82.4
史	156	144	92.3
地 理	73	54	74.0
文 化 財	102	95	93.1
心 理	84	73	86.9
現代社会	65	50	76.9
合 計	565	486	86.0

※在籍者数は平成22年10月1日現在の数（休学中の学生を除く）

②平成22年度卒業生進路状況

本年度の3月19日（卒業式）現在の、進路決定状況は資料21のとおり。

【資料21】平成22年度 進路状況一覧(3月19日現在)

	国文学科			史学科			地理学科			文化財学科			文学部計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
卒業者数	32	51	83	85	64	149	71	15	86	44	60	104	232	190	422
進路決定者数	17	33	50	56	30	86	50	9	59	23	34	57	146	106	252
企業就職決定者	12	26	38	34	20	54	35	5	40	13	17	30	94	68	162
教員決定者	2	4	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4	7
公務員決定者	0	2	2	5	4	9	4	0	4	3	5	8	12	11	23
学芸員・司書等決定者	0	0	0	0	1	1	0	2	2	1	2	3	1	5	6
進学	3	1	4	16	5	21	11	2	13	6	10	16	36	18	54
未内定者数	7	12	19	12	19	31	10	3	13	6	10	16	35	44	79
企業	7	9	16	11	17	28	9	3	12	4	9	13	31	38	69
教員受験・登録中	0	3	3	1	2	3	1	0	1	2	1	3	4	6	10
就職しない者の数	8	6	14	17	15	32	11	3	14	15	16	31	51	40	91

	心理学科			現代社会学科			社会学部計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
卒業者数	48	41	89	58	14	72	106	55	161
進路決定者数	26	17	43	35	9	44	61	26	87
企業就職決定者	19	15	34	31	9	40	50	24	74
教員決定者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公務員決定者	6	0	6	2	0	2	8	0	8
学芸員・司書等決定者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進学	1	2	3	2	0	2	3	2	5
未内定者数	6	12	18	10	0	10	16	12	28
企業	6	12	18	10	0	10	16	12	28
教員受験・登録中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職しない者の数	16	12	28	13	5	18	29	17	46

合計		
男	女	計
338	245	583
207	132	339
144	92	236
3	4	7
20	11	31
1	5	6
39	20	59
51	56	107
47	50	97
4	6	10
80	57	137

※「就職しない者」は、公務員や教員の再受験者、及びアルバイト、留学希望など

③参考資料から見る今後の課題

実施率向上を目標に3年次生との個人面談を実施し、在籍者の86%の学生と面談が実施できたことは、数値的に十分とは言えないまでも、学生の実態からみて例年以上の実施率であり、学生の状況把握という点では、一定の効果があったと言える。ただ、2-4で記載したと同様、早い段階での支援、助言が必要な学生の比率が高く、面談を実施し、状況は把握したものの、その後に活かされなかった場合もあった。それを踏まえ、次年度は早期からの進路個人面談を実施し、継続した個の支援が必要と思われる。

最後に、卒業生の進路決定状況であるが、景気低迷による厳しい就職環境下では、進路決定率80%以上（本取組の当初の目標）に、今年度も到達することができなかった。年度当初から決定率低下を懸念し、4年次生には緊急のガイダンスを実施したり、後期からはキャリアカウンセラーの配置などを行い、個別対応に重点をおいた支援を実施した。しかし、既に厳しい環境下での活動に希望の活路を見出せず、志半ばで卒業までの進路決定を断念した学生が存在したのも事実である。以上のような結果は、厳しい経済情勢の影響は避けることができないものの、こういう事態にこそ、本学が目指す「自立心・行動力・向上心」を備えた人材の育成が求められており、本学の中でその体制の確立が早急のテーマである。

3. 次年度の計画について

前述の実施状況、成果及び課題を踏まえ、最終年を迎える平成23年度には概ね以下の事業を推進する。

4月

全新生を対象に、自己理解を促進するためのプログラム「自己の探求Ⅰ」を実施する。大学での修学目的や進路目標などを明確に持っていない新生に対し、新生同士の横のつながりを強化し、色々な交流を持つことで修学や進路の目的・目標を明確にしてくれることを狙う。正課ではなく、あくまで新生のオリエンテーションとして位置付け、4月29日・30日の両日で実施する。

4月～1月

1年次生から4年次生までの継続したキャリア支援が出来るよう、全学年にキャリア支援科目を設置し、開講する。新生からではなく、在学生にも適用して履修を可能とし、「気づき」と「振り返り」の機会の拡充を図るとともに、学生及び教職員に対し、本取組の重要性の徹底を図る。

4月～2月

厳しい就職環境、学生の就業意識の変容に対応し、3年次生を対象に就職活動支援のためのガイダンスを時期・内容を見直し実施する。特に、前期における学生の状況（意識）把握に努めるとともに、自身の進路選択への自己分析の徹底を図り、準備不十分による就業意欲低下に陥る学生の減少に努める。

4月～3月

今年度の状況も踏まえ、1年をとおしてキャリアカウンセラーを配置し、より個別支援の体制を整備する。

5月～1月

全学年合同での「自立心・行動力・向上心」養成ゼミを継続実施する。「自立心・行動力・向上心」を意識し、それを教室以外の場所で何らかの行動に移すことができるよう、能動的な内容で継続して参加していけるようさらに工夫を加える。また、参加者のモチベーションを上げるため、グループワークの成果結果をHP上でも公表する。

9月

卒業後2年目の卒業生の在職先280社・団体に対して卒業生評価調査を継続実施する。

9月～10月

全国8地区において、保護者対象の懇談会を継続実施する。出来るだけ多くの保護者の方に進路への関心を持って参加いただくための工夫として、前期よりも学生個別での詳細な状況報告や種々の情報提供を行うこととする。

10月～11月

3年次生の就職意識が高くなるこの時期に、進路決定した4年次生をアドバイザー（呼称：キャリアサポーター）として継続して設置する。単なるアドバイザーに留めることなく、キャリアサポーター自身も更に能力向上を目指せるように、キャリアセンター内での活動を支援する。

前期・後期

全体として、保護者との連携を継続・強化するため、引き続きガイダンス等の出席状況を前期・後期それぞれに保護者に通知する。

また、養成ゼミでは、実施前、実施後の変化を図るため、キャリアUPセルフチェックによる自己診断を実施する。また、平成23年度より設置された正課授業としてのキャリア支援科目が、確実に機能するように授業の状況を確認し、学生の成長についても把握する。その上で、本取組が成熟し、学内で確立されていくよう推し進めていきたい。

4. 総括

本取組の2年間で簡潔に総括することとしたい。

キャリアセンターがかねてより切望していたが、本学では難しいとされてきた正課内におけるキャリア支援を、本取組の採択によりようやく推進できると、採択決定当時のキャリアセンターでは強く確信した。しかし、本取組の採択やその後の事業展開は、閉塞的であった本学のキャリア形成支援に対し、一石を投じたものの、事業推進の大きな原動力となるには至っていない。この度、取組の最終年を迎えるにあたり、ようやくキャリア支援科目の正課化が実現した訳だが、当初キャリア支援科目の設置推進のために設置した「キャリア教育推進委員会」が当初の想定どおりには進まず、推進主体を社会学部に移行することとなった。結果として、短期間での設置承認へと進んだ訳だが、全学的取組とするには、まだまだ高い学内の障壁を実感する結果となった。その他の事業展開においても、当初の目標に至らず、特に景気低迷による就職環境の悪化に伴う進路未決定者の増加などは、厳しい課題である。

しかし、今年度4月に実施した自己理解促進のための「自己の探求Ⅰ」について、当初、希望する入学生に限定し実施する計画であったが、全入学生を対象として実施できたことは、本学のキャリア支援において大きな一歩となった。また、このプログラムの受講がきっかけで、自発的、能動的な活動を目指す学生を輩出できたことも、大きな成果と言える。しかし残念ながら、プログラム自体が学生の間では任意参加という意識があり、約半数の参加しかなかったことは大きな反省点である。次年度についても、出来るだけ多くの参加が見込めるよう入学式直後の実施を計画したが、学内での意思統一が図れず、今年度と同様4月末での実施に留まった。今後、初年次教育との連携も含め、学内での重要性と周知の徹底に努めたい。

平成23年4月に施行される大学設置基準の改定において、「学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的および職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整える」との改正がされるこの時期に、一人でも多くの学生が、自らの将来を自身で切り開く能力が築けるよう、「自立心・行動力・向上心」の育成を目指し、全学をあげて取組の実現に邁進したい。

なお、2月25日に実施した、キャリア教育評価委員会の評価結果を最後に付して、総括としたい。

<委員からの評価>

- ・学生の消極的姿勢（授業・養成ゼミ・ガイダンス等への出席率の低迷や進路決定状況の悪化）は他の正課授業でも同様であり、全体的傾向である。正課でも検討の必要性を感じる。
- ・留年者数もここ数年増加しており、全学的カリキュラムの再編も考える必要がある。
- ・多様な内容で展開しているが、それがひとつになっていないため、現状に適應していない感じがする。学士課程教育への組み込み方の議論が必要。
- ・キャリア支援は大学全体としてのマネジメントに大きく関わっている。

<23年度に向けての課題>

- ・数値目標を出来るだけ明確にする。
- ・多くの目標達成よりも、「確実に達成する」というものを重点的に行う。
- ・キャリア支援に関する十分な学内的理解を推進する。

5. おわりに

ここ数年、低意欲で入学してくる学生や自立出来ない学生の増加が、進路の決定に大きな影響を与えている。多くの学生が本格的に進路を模索し始める3年次生になってからの指導・ガイダンスに、限界を感じていたキャリアセンターでは、初年次からのキャリア教育の必要性を訴えていた。そして、キャリア教育すなわち人間力の育成が不可欠であるとの思いから、「自立心・行動力・向上心」の育成を目標に掲げ、その取組に向け試行錯誤を繰り返してきた。

その様な状況の中で文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）に本学の『「気づきと振り返り」促進による自立心・行動力・向上心の育成』が選定され、今まで文部科学省の大学教育改革の支援事業に未採択であった本学において、極めて大きな意義を持つと共に、学生の進路支援を行うキャリアセンターにおける、改革の大きな推進のきっかけとなった。

単なるキャリア教育の枠に留まるのではなく、「真面目だが消極的」といった本学学生のイメージを払拭するためにも「自立心・行動力・向上心」を備えた積極的な学生を養成し、将来をしっかりと見据える力を形成することこそが重要である。すなわちキャリア教育がつまり人間力の育成であることを、学内に発信することとなったのである。

しかし、依然としてキャリア教育というと、「就職指導」と捉えられる傾向の強い大学において、キャリア教育という概念を学内で共有するためにも、事業2年目の今年度はキャリア教育の正課化の推進に重点を置いた。具体的には、教養部が主導する初年次教育と連携して、1年次から4年次までの全学年に、継続したキャリア支援科目の開講を推し進めたことにより、次年度からの正課授業に組み入れられる運びとなった。キャリア教育すなわち人間力の育成が、やっと緒に就いたとの想いである。

一方、今年度の成果としては「自己理解促進プログラム」（ガイダンス）をきっかけに、「大学をより良い大学にしたい」そして「大学の行事に積極的に関わりたい」という学生グループが発足した。オープンキャンパスなどの企画に自主的に参加して、大学が期待する「自分たちで気づき、考え、そして行動する」といった人間力を実践してくれた活動である。今後もこのような活動の輪が広がるように応援していきたい。

そして、ただ単にガイダンスといった従来の枠に留まることなく、家庭や課外活動において学生それぞれが気づき振り返る習慣が身につくように、またそのために色々な機会を提供することが学生の自立・行動・向上を形成していくうえで重要であると考えている。

当然ながら、事業自体はまだ成熟しておらず、正課以外の取組については、まだまだ学生への周知度も低く、実現可能な取組への改善が必要なことは言うまでもない。ましてや、このような景気低迷による雇用環境の悪化が叫ばれる現在においては、大学に課せられた課題は大きく、閉塞的であった大学のキャリア教育に一石を投じ、すべての学生が希望する進路を獲得できるように引き続き支援していきたい。

奈良大学 キャリアセンター長 田嶋 賢治

奈良大学

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)
「気づきと振り返り」促進による自立心・行動力・向上心の育成
平成22年度（中間）報告書

平成23年3月発行

発行：奈良大学 キャリアセンター
〒631-8502 奈良県奈良市山陵町1500
TEL：0742-41-9506 FAX：0742-49-1199
<http://www.nara-u.ac.jp/about/gp.html>